

年間授業計画 様式例

高等学校（1学年用）教科

外国語 科目 英語コミュニケーションI

教科： 外国語 科目： 英語コミュニケーションI

単位数： 4 単位

対象学年組： 第 1 学年 7 組～ 8 組

使用教科書： (『 Heartening English Communication I New Edition 』 (桐原書店))

教科 外国語 の目標：

- 【知識及び技能】各単元の文法事項を理解し、それを用いて本文の内容を読み取る
- 【思考力、判断力、表現力等】本文の内容をわかりやすく相手に伝えることができる
- 【学びに向かう力、人間性等】本文の内容をわかりやすく相手に伝えようとする力を養成する

科目 英語コミュニケーションI の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
<p>【知識】英語の特性やまじりに関する事項を理解している。</p> <p>【技能】コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について書かれた文等を読んで、その内容を捉える技能を身に付けている。</p>	<p>コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、必要な情報を読み取り、書き手の意図や概要、要点を捉えている。</p>	<p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語で書かれたことを読もうとしていく。</p>

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数	
		聞	読	話 (や ー)	話 (発 言)	書						
1 学 期	<p>単元</p> <p>【知識及び技能】小田選手の記事(物語文)を読み、概要を理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】記事で最も印象に残った部分とその理由を、現在形、過去形、進行形、未来表現を用いてスピーキング、ライティングで表現を行う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】小田選手の記事の内容をリテラシーする。記事の感想をクラスメートと伝え合う。</p>	<p>L1: Who Is Your Hero? Scene 1, 2, 3, 4</p> <p>小田凱人選手の挑戦を通じ、夢や憧れについて考える。</p>	○	○	○	○	○	○	○	○	10	
	<p>単元</p> <p>【知識及び技能】アンズのニュースを読み、概要を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】現在完了形/現在完了進行形、過去完了形/過去完了進行形を用いて、スピーキング、ライティングで表現を行う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】アンズについての会話から意図や概要を再解釈し、積極的にスピーキング、ライティングで表現を行うとする。</p>	<p>L2: Go, Anzu! Svene 1, 2</p> <p>警察犬になったアンズの物語を通じ、個性やチームワークの意義を学ぶ。</p>	○	○	○	○	○	○	○	○	11	
	<p>定期考査</p>										1	
	<p>単元</p> <p>【知識及び技能】アンズのニュースを読み、概要を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】現在完了形/現在完了進行形、過去完了形/過去完了進行形を用いて、スピーキング、ライティングで表現を行う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】アンズについての会話から意図や概要を再解釈し、積極的にスピーキング、ライティングで表現を行うとする。</p>	<p>L2: Go, Anzu! Svene 3, 4</p> <p>警察犬になったアンズの物語を通じ、個性やチームワークの意義を学ぶ。</p>	○	○	○	○	○	○	○	○	13	
2 学 期	<p>単元</p> <p>【知識及び技能】アンズのニュースを読み、概要を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】現在完了形/現在完了進行形、過去完了形/過去完了進行形を用いて、スピーキング、ライティングで表現を行う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】アンズについての会話から意図や概要を再解釈し、積極的にスピーキング、ライティングで表現を行うとする。</p>	<p>L3: We Can Make a Difference Scene 1, 2, 3, 4</p> <p>環境問題への取り組みを学び、解決の可能性を考える。</p>	○	○	○	○	○	○	○	○	13	
	<p>定期考査</p>									1		
	<p>単元</p> <p>【知識及び技能】中1の学芸会を振り返る方法についての論文を読み、概要を理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】さまざまな文法事項、前置詞を用いて、スピーキング、ライティングで表現を行う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】環境問題への取り組みについて会話を聞き、整理しスピーキング、ライティングで表現を行うとする。</p>	<p>Lesson 4 Scene 1, 2, 3, 4</p> <p>Creative Problem Solving</p>	○	○	○	○	○	○	○	○	26	
	<p>単元</p> <p>【知識及び技能】環境問題についての説明文・意見文を読み、概要を理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】動名詞、動詞の過去形を用いて、スピーキング、ライティングで表現を行う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】環境問題への取り組みについて会話を聞き、整理しスピーキング、ライティングで表現を行うとする。</p>	<p>Lesson 5 Scene 1, 2, 3, 4</p> <p>Canned Bread to Feed the World</p>	○	○	○	○	○	○	○	○	26	
3 学 期	<p>単元</p> <p>【知識及び技能】空想小説についての講義を読み、概要を理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】動名詞、動詞(分詞)を用いて、スピーキング、ライティングで表現を行う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】積極的にスピーキング、ライティングで表現を行うとする。</p>	<p>Lesson 6</p> <p>Could We Have a Real Jurassic Park?</p>	○	○	○	○	○	○	○	○	25	
	<p>単元</p> <p>【知識及び技能】ファッション業界の話題についての講演と対峙する二者の意見文を読み、概要を理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】SIOC(分詞)、分詞構文を用いて、スピーキング、ライティングで表現を行う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】積極的にスピーキング、ライティングで表現を行うとする。</p>	<p>Lesson 7</p> <p>Behind the Price Tag</p>	○	○	○	○	○	○	○	○	24	
											合計	150

高等学校（1学年用）教科

芸術 科目 書道 I

単位数： 2 単位：

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 8 組

使用教科書： 『書 I』 （光村図書）

教科 芸術 の目標：

- 【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。
- 【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 書道 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。	書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。	主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		漢 仮	漢	仮						
ガイダンス	・書道で学習すること ・書写から書道へ ・年間授業計画と評価									○ 2
漢字の書 篆刻 【知識及び技能】 ・用具・用材の特徴と表現効果との関わりについて理解できるようにする。 ・書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解できるようにする。 ・古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能を身に付けるようにする。 ・古典の線質、字形や構成を生かした表現の技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫できるようにする。 ・意図に基づいた表現について構想し工夫できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に漢字の書の幅広い表現の学習活動に取り組む態度を養う。	指導項目 ・用具・用材と扱い方 ・漢字の変遷と書体 ・篆書の基本 ・選文・検字、布字、運刀、完成まで				○	○	○	○	○ 12	
漢字の書 楷書 【知識及び技能】 ・用具・用材の特徴と表現効果との関わりについて理解できるようにする。 ・書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解できるようにする。 ・古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能を身に付けるようにする。 ・古典の線質、字形や構成を生かした表現の技能を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫できるようにする。 ・意図に基づいた表現について構想し工夫できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に漢字の書の幅広い表現の学習活動に取り組む態度を養う。	指導項目 ・唐の四大家に学ぶ楷書の基本 ・古典の臨書 ・古典を生かした創作 ・落款				○	○	○	○	○ 10	
硬筆、ペン字 【知識及び技能】 ・実技について、硬筆書写一般の技術及び知識をもって書けるようにする。 ・理論について、硬筆書写一般の知識・理解を身に付けるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体について構想し工夫できるようにする。 ・目的や用途に即した表現形式、意図に基づいた表現について構想し工夫できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 主体的に書写能力の向上に向け、硬筆の学習活動に取り組む態度を養う。	指導項目 硬筆書写の技術及び知識の習得と実践文字の正確性や美しさ、書式など ・速書き ・楷書と行書 ・漢字仮名交じり文 ・はがき ・揭示 ・漢字の部分の名称 ・筆順 ・草書を読む ・漢字の字体 副教材『新版応用ペン習字』使用				○	○	○	○	○ 10	

高等学校（1学年用）教科

芸術 科目 美術 I

教科：芸術

科目：美術 I

単位数：

単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 6 組

使用教科書：（光村図書 美術 1）

教科 芸術

の目標：

- 【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるように
- 【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。
- 【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、

科目 美術 I

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配当 時数
		絵・彫	デ	映						
オリエンテーション	指導事項 ・自己紹介 ・年間授業計画と評価 ・使用教材セットの内容確認 ・教科書の鑑賞・グループワーク					・美術 I の学習について理解したか ・教材セットを確認できたか ・主体的に鑑賞し、グループで意見を交換し、ものの見方や感じ方を深めることができるか。				2
【絵画：絵画デザイン】 【知識及び技能】 ・絵画の作り方、構図を理解する。 ・モチーフの比率の取り方ができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・描画の10段階グラデーションを行い、調子や対象を表現力豊かに表すことができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作家や先輩の作品だけでなく、友達作品も主体的に鑑賞し、自らの参考とするとともに多様な表現への理解を深めさせる。	指導事項 ・絵画の作り方 ・絵画の構図、タッチのつけ方、グラデーションのつけ方 ・両面紙の中心の取り方 ・紙コップの比率の取り方 ・紙コップのデザイン ・相互評価、鑑賞					【知識及び技能】 ・絵画の作り方、持ち方を理解している。 ・モチーフの比率の取り方を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・絵画の10段階グラデーションを行い、調子や対象を表現力豊かに表している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・作家や先輩の作品だけでなく、友達作品も主体的に鑑賞し、自らの参考とするとともに多様な表現への理解を深めようとしている。				4
【デザイン：平面構成デザイン】 【知識及び技能】 ・色彩の効果を理解し、効果的に配色できるようにする。 ・形態の特質を理解し、構図に活かせるようにする。 ・材料用紙の長さを理解し、適切な切り取りができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・各々の意図に応じて質的な配色や構図となるよう構想し、表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・各々の意図に応じた表現だけでなく、友達作品も主体的に鑑賞し、自らの参考とするとともに多様な表現への理解を深めさせる。	平面構成 ・色の属性 ・線 ・色 ・メインカラー、サブカラー、アクセントカラーなど ・相互評価、鑑賞 ・推しを平面構成 ・明度そのままに推しのイメージを色彩で再構成する ・平面 ・メインカラー、サブカラー、アクセントカラーなど ・相互評価、鑑賞					【知識及び技能】 ・色彩の効果を理解し、効果的に配色している。 ・形態の特質を理解し、構図に活かしている。 ・材料用紙の長さを理解し、適切に取り扱っている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・各々の意図に応じて質的な配色や構図となるよう構想し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・各々の意図に応じた表現だけでなく、友達作品も主体的に鑑賞し、自らの参考とするとともに多様な表現への理解を深めさせる。 【知識、構図メディア表現：地元のイテオン】 ・地元の事物や風景の良さを造形的な視点について理解し、意図に応じて表現方法を創意工夫する。 ・自然に変換し、両面紙や適切な紙の構想を練る。 ・複製の事例を考察する。 ・デジタル絵の具で絵画的に表現する。 ・相互評価、鑑賞				14
【絵画、映像メディア表現：地元のイテオン】 【知識及び技能】 ・地元の事物や風景の良さを造形的な視点について理解し、意図に応じて表現方法を創意工夫する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・地元の造形的な良さを造形的な視点について考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作家や先輩の作品だけでなく、友達作品も主体的に鑑賞し、自らの参考とするとともに多様な表現への理解を深めさせる。	【地元イテオン】 ・個人用などで地元の事物や風景を撮影する。 ・自然に変換し、両面紙や適切な紙の構想を練る。 ・複製の事例を考察する。 ・デジタル絵の具で絵画的に表現する。 ・相互評価、鑑賞					【知識及び技能】 ・地元の事物や風景の良さを造形的な視点について理解し、意図に応じて表現方法を創意工夫している。 ・作家や先輩の作品だけでなく、友達作品も主体的に鑑賞し、自らの参考とするとともに多様な表現への理解を深めようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・作家や先輩の作品だけでなく、友達作品も主体的に鑑賞し、自らの参考とするとともに多様な表現への理解を深めようとしている。				6
【美術館鑑賞レポート】 【学びに向かう力、人間性等】 ・美術文化に主体的に接する機会を設け、生涯にわたって美術を愛好できるようにする。	指導事項 【美術館鑑賞レポート】 ・首都圏の美術館・展覧会の紹介 ・美術館鑑賞の手引き					【美術館鑑賞レポート】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・主体的に美術館・展覧会を調べ訪れ、能動的な鑑賞によって美的経験を味わっている。				2
【デザイン：二十四節気のマーク】 【知識及び技能】 ・わかりやすく効果的な伝達のデザインができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・情報を伝えるデザインの目的や機能をふまえて創造的な表現の発想や構想ができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に誰に何を伝えるかを考え、鑑賞や創作	【二十四節気をデザイン】 ・二十四節気の一つをレタリングし、それを表すマークをデザインする。					【二十四節気のマーク】 【知識及び技能】 ・わかりやすく効果的な伝達のデザインができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・情報を伝えるデザインの目的や機能をふまえて創造的な表現の発想や構想している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主体的に誰に何を伝えるかを考え、鑑賞や創造活動に取り組むとしている。				22
【絵画：作家研究・風景画】 【知識及び技能】 ・様々な作家の作風を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・身近な風景を構図を工夫して撮影する。 ・作家の技法を取入れ、身近な風景を表現力豊かに表すことができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・作家や先輩の作品だけでなく、友達作品も主体的に鑑賞し、自らの参考とするとともに多様な表現への理解を深めさせる。	【作家研究・風景画】 ・身近な風景を撮影する。 ・教科書や図書館で心惹かれる作家の表現を調べ、自分の風景画に取り入れる。					【知識及び技能】 ・様々な作家の作風を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・身近な風景を構図を工夫して撮影している。 ・作家の技法を取入れ、身近な風景を表現力豊かに表している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・作家や先輩の作品だけでなく、友達作品も主体的に鑑賞し、自らの参考とするとともに多様な表現への理解を深めようとしている。				20
合計										70

高等学校（1学年用）

教科

情報

科目

情報 I

教科： 情報

科目：

情報 I

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～

8 組

使用教科書：（『新編 情報 I』（東京書籍））

教科 情報

の目標：

【知識及び技能】

情報と情報技術及びこれらを活用して問題を発見・解決する方法について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについての理解を深めるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。

科目 情報 I

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについての理解を深めるようにする。	様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。	情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1章 情報で問題を解決する 【知識及び技能】 ・情報の特性から、情報とは何か理解させる。 ・情報やメディアの特性を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・各メディアのメリット、デメリットを判断させる。	オリエンテーション 1 情報とメディアの特性 2 問題解決の流れ 3 発想法 実41 アイディアの大量生産 ・一人1台端末の活用	【知識及び技能】 ・情報の特性から、情報とは何か理解できる。 ・情報やメディアの特性を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・各メディアのメリット、デメリットが判断できる。	○	○		4
【知識及び技能】 ・情報に関する法規があることを理解させる。 ・個人情報とは何か理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・情報モラルに配慮した発信について考えさせる。 ・SNS等で加害者や被害者にならないための対応を判断させる。	4 情報モラル 5 個人情報の流出 6 傷つけない傷つけないために ・一人1台端末の活用	【知識及び技能】 ・情報に関する法規があることを理解できる。 ・個人情報とは何か理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・情報モラルに配慮して情報を発信できる。 ・SNS等で加害者や被害者にならないための対応が判断できる。	○	○		3
【知識及び技能】 ・著作権の内容を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・正しい引用で表現できるようにする。 ・学校で利用できる著作物を判断できるようにする。	7 著作権 ・一人1台端末の活用	【知識及び技能】 ・著作権の内容を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・正しい引用で表現できる。 ・学校で利用できる著作物を判断できる。	○	○		1
【知識及び技能】 ・情報技術による社会の変化が理解させる。 ・情報化による健康への影響などの「影」の部分を理解させる。 ・デジタルデバインドとユニバーサルデザインを理解させる。	8 情報技術の発展 9 情報化と私たちの生活の変化 10 よりよい情報社会へ ・一人1台端末の活用	【知識及び技能】 ・情報技術による社会の変化が理解できる。 ・情報化による健康への影響などの「影」の部分を理解できる。 ・デジタルデバインドとユニバーサルデザインを理解できる。	○			3
2章 情報を伝える 【知識及び技能】 ・メディアの特性とコミュニケーション手段の特徴を、その変遷も踏まえて理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・メディアの特性とコミュニケーション手段の特徴から適切な情報の表現ができるようにする。 ・通信メディアの進歩による社会や生活の変化を考えさせる。	11 コミュニケーション手段の変化 12 ネットコミュニケーションの特徴 ・一人1台端末の活用	【知識及び技能】 ・メディアの特性とコミュニケーション手段の特徴を、その変遷も踏まえて理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・メディアの特性とコミュニケーション手段の特徴から適切な情報の表現ができる。 ・通信メディアの進歩による社会や生活の変化を考察することができる。	○	○		2
【知識及び技能】 ・2進法、10進法、16進法の仕組みが理解させる。 ・文字コードが理解させる。 ・デジタル化の標準化、量子化、符号化が理解させる。 ・画像や音声の圧縮形式を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・デジタル情報とアナログ情報のメリットとデメリットを考えさせる。	13 デジタルの世界へ 15 音と画像のデジタル表現 16 色と動画のデジタル表現 17 目的に応じたデジタル化 ・一人1台端末の活用	【知識及び技能】 ・2進法、10進法、16進法の仕組みが理解できる。 ・文字コードが理解できる。 ・デジタル化の標準化、量子化、符号化が理解できる。 ・画像や音声の圧縮形式を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・デジタル情報とアナログ情報のメリットとデメリットを考察することができる。	○	○		5
【知識及び技能】 ・情報デザインの目的を理解させる。 ・抽象化、可視化、構造化の方法を理解させる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・粘り強く、分かりやすい文書を作成させる。	18 情報デザイン ・一人1台端末の活用 ・プレゼンテーションソフト	【知識及び技能】 ・情報デザインの目的を理解できる。 ・抽象化、可視化、構造化の方法を理解できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・粘り強く、分かりやすい文書を作ろうとしている。	○		○	4
【知識及び技能】 ・ユニバーサルデザイン、ユーザインタフェースとユーザエクスペリエンスを理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ユーザインタフェースの問題点を考えさせる。	19 ユニバーサルデザイン 20 情報デザインの流れ ・一人1台端末の活用	【知識及び技能】 ・ユニバーサルデザイン、ユーザインタフェースとユーザエクスペリエンスを理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ユーザインタフェースの問題点を考察することができる。	○	○		2
期末考査			○	○	○	1

高等学校（1学年用） 教科

地歴

科目 地理総合

教科：地歴

科目：地理総合

単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 8 組

教科担当者：（1組～8組：長島）

使用教科書：（『地理総合』（二宮書店）、『新詳高等地図』（帝国書院））

教科 地歴

の目標：

【知識及び技能】

地理や歴史に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や防災、地域や地球的課題への取り組みなどを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて調査や諸資料から地理に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】

地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚を深める。

科目 地理総合

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地理や歴史に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や防災、地域や地球的課題への取り組みなどを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて調査や諸資料から地理に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。	地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚を

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>私たちが暮らす世界</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 世界地図や地球儀での表現方法やその仕組みについて理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地球上の位置や時差のしくみを捉え、説明できる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地球上の位置に関する事柄に対して意欲的に探究し、考察に取り組む。 	<p>指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 地球上の位置情報の基礎として、球体としての地球、緯度・経度の基本的なしくみ、地球上での位置の示し方を理解する。 経度の違いから時差の概念を捉え、日常生活における時差計算の技能を身につけ、球面として成り立つ世界認識をもつ。 地球儀と世界地図の違いを理解し、用途に応じて適切に利用する。 	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 緯度・経度のとらえ方、時差の計算について理解できる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 図を活用することにより、地球上の位置や時差のしくみを捉え、説明できる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地球上の位置に関する事柄に対する関心を高め、意欲的に探究し、考察に取り組むことができる。 	○	○	○	6
<p>地図や地理情報システムの役割</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地図の種類やGISについての基本的な事柄を理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地形図や地理院地図の特徴を縮尺・地図記号・用途などに着目し、適切に表現することができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 身の回りにある地図に対する関心と課題意識を高め、それらを意欲的に探究している。 	<p>指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 普段の生活にさまざまな地図が利用されていることを理解する。 統計地図の種類とその効果的な使い方について理解する。 主題図の表現方法の特徴を理解し、用途に応じてどのように使い分けられるのかを考える。 	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地図の分類についての基本的な知識を身につけることができる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 統計地図を用途によって使い分けられることができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地形図や地理院地図に関心をもち、それらを意欲的に探究することができる。 	○	○	○	5
<p>定期考査</p>			○	○		1
<p>生活文化と自然環境①地形</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> さまざまな地形環境についての知識を身につける。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本や世界の地形の形成過程を多面的・多角的に考察する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地形を利用した人々の暮らしについて意欲的に探究する。 	<p>指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 山地・平地・河川や海などさまざまな場所で形成される地形について理解する。 地形による生活文化の違いを考察する。 それぞれの地形における自然的・文化的な恵みに気づき、持続可能な利用方法について意欲的に探究する。 	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本や世界各地に形成される地形環境について理解できる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> さまざまな地形の形成過程について考察することができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地形による生活文化の違いについて意欲的に探究することができる。 	○	○	○	6
<p>生活文化と自然環境②気候</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地球上における気候の違いと、それによって生まれた異なる景観について理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 気温や降水量の違いが生じるメカニズムを、緯度ごとの太陽から受ける熱量の違いや地球全体の大気の流れなどの要因から多面的・多角的に考察する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 気温や降水量の違いが与える地域への影響や、生活様式、産業にもたらす変化について意欲的に探究する。 	<p>指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 世界的な視野から大気や海流が循環するしくみを捉え、地球上ではそれらの影響を反映した気候の地域性が生まれていることを理解する。 世界の各気候区が、人々の生活文化とどのような関わりをもつのかを考察する。 	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 大気循環と大気のしくみ、各気候の特徴を理解できる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 写真などの資料をもとに、気候により景観が異なることを捉え、その原因を多面的・多角的に考察することができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 世界各地の気候や生活文化の違いについて意欲的に探究できる。 	○	○	○	6
<p>定期考査</p>			○	○		1
<p>生活文化と社会環境①産業</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各地域の産業の特徴について理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 社会環境の面から、各地域の産業形態の違いについて考察する。 	<p>指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 自然環境の面から、産業立地の違いについて理解する。 社会環境の面から、各地域の産業形態の違いについて考察する。 	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各地域の産業の特徴について理解できる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 産業と生活文化の関わりについて考察できる。 				

	<p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 産業と生活文化の関わりについて多面的・多角的に考察する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 産業が自然環境や技術の発展、グローバル化の影響で多様性が生じ、変化が起きていることを意欲的に探究する。 	<p>について考察する。</p>	<p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自然環境などの発展やグローバル化の影響で多様性が生じ、変化が起きていることを意欲的に探究することができる。 	○	○	○	5
	<p>生活文化と社会環境②民族・宗教</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 宗教と生活習慣との関わりや、世界でみられるさまざまな宗教の特徴について理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> さまざまな宗教の生活規範などの特徴について、多面的・多角的に考察する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 宗教の持つ役割や他の宗教への理解や尊重の必要性について意欲的に探究する。 	<p>指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 世界でみられる生活文化の多様性について、宗教や言語の分布や人々との関わりを諸資料を通じて理解する。 世界の少数民族や移民、難民の問題を意識しながら、自他の文化を尊重する社会の実現を考える。 	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 宗教や文化を通じて、世界の多様性を理解することができる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活と宗教の関わりについて、地域性や歴史的背景をもとに考察できる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 宗教の持つ役割や他の宗教への理解や尊重の必要性について意欲的に探究することができる。 	○	○	○	5
	<p>地球環境問題</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 大気や海洋、陸地で起きている環境問題について理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 世界各地で起きている地球環境問題について、地域性や歴史的背景、日常生活との関連や国際社会の変化をふまえて多面的・多角的に考察する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> さまざまな要因がからむ地球環境問題に対して、意欲的に探究する。 	<p>指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 地球温暖化や海洋汚染の拡大の現状とその原因について理解する。 生産・消費活動により環境問題が発生することを理解し、解決に向けた取り組みを考える。 	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地球上で起きている環境問題について理解できる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地球環境問題の地域性や歴史的背景、日常生活との関連性などを多面的・多角的に考察できる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地球環境問題の様々な要因について意欲的に探究することができる。 	○	○	○	5
	<p>定期考査</p>			○	○		1
2学期	<p>資源・エネルギー問題</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 世界の資源・エネルギー問題に関する基本的な事柄について理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 世界の資源・エネルギーをめぐるさまざまな問題について、地域性や歴史的背景、日常生活との関連や国際社会の変化をふまえて多面的・多角的に考察する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 枯渇の危機に瀕している世界の資源・エネルギー問題に対して意欲的に探究する。 	<p>指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 資源・エネルギーの生産地と消費地は地理的に離れていることを理解する。 新興国のエネルギー需要の増加を理解し、資源をめぐる対立が生じる要因を考える。 再生可能エネルギーへの関心が高まった背景を理解し、再生可能エネルギーの割合の拡大が容易ではない要因を考える。 	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 世界の資源・エネルギー問題や世界中で需要が高まっているエネルギー資源についての基本的な事柄を理解できる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> エネルギー資源の分布や環境への影響などについて、地域性や歴史的背景、日常生活との関連や国際社会の変化をふまえて多面的・多角的に考察できる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> エネルギー資源の生産及び消費に対する関心と課題意識を高め、それらを意欲的に探究することができる。 	○	○	○	5
	<p>人口問題</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> さまざまな要因がからむ世界の人口問題に関する基本的な事柄を理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各国の社会状況にあった具体的な解決が求められる世界の人口問題について、多面的・多角的に考察する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地球規模での解決が求められる世界の人口問題に対して意欲的に探究する。 	<p>指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 18世紀後半以降から現在にかけての世界の人口推移とその背景を理解する。 人口増加が著しい地域があることを理解し、その要因・影響を考察する。 	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 世界の人口の変化や分布、増減などの特徴について理解できる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 発展途上国でみられる人口問題と先進国でみられる人口問題の違いとその要因について多面的・多角的に考察できる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 解決がせまられる発展途上国や先進国の人口問題に対して、意欲的に探究することができる。 	○	○	○	5
	<p>定期考査</p>			○	○		1
	<p>食料問題</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域的な要因がからむ世界の食料問題に関する基本的な事柄について理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 需給のアンバランスな世界の食料問題について、地域性や歴史的背景、日常生活との関連や国際社会の変化をふまえて多面的・多角的に考察する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 飽食と飢餓の両方が存在する世界の食料問題について意欲的に探究する。 	<p>指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 食料問題が生じる背景について理解する。 食の安全に関する問題について知り、その対策について考察する。 	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 世界の食料問題に関する基本的な知識を身につけることができる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 需要と供給のアンバランスな状態を作り出している世界の食料問題について、多面的・多角的に考察できる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 現代の世界で起きている食料問題について、飽食と飢餓の両方が存在することを意欲的に探究することができる。 	○	○	○	4
	<p>居住・都市問題</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 先進国や発展途上国といった各地域で起きている居住・都市問題について、基本的な事柄を理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> さまざまな要因のからむ各地域の居住・都市問題について、地域性や歴史的背景、日常生活との関連や国際社会の変化をふまえて多面的・多角的に考察する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 複雑で多様な世界の居住・都市問 	<p>指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 発展途上国で進む都市人口の増加の背景を理解する。 先進国の都市化と郊外化、そして都市再開発までの動きとそれぞれの背景について理解する。 	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 先進国や発展途上国といった各地域で起きている居住・都市問題について基本的な知識を身につけることができる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各地域で起きているさまざまな居住・都市問題について、多面的・多角的に考察できる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 世界で起きている多様な居住・都市問題に対して意欲的に探究することができる。 	○	○	○	4

3 学 期	題に対する関心と課題意識を高め、 それらを意欲的に探究する。 民族問題 【知識及び技能】 ・深刻さを増す民族問題や難民問題 についての基本的な事柄を理解す る。 【思考力、判断力、表現力等】 ・民族問題・難民問題について、地 域性や歴史的背景、日常生活との関 連や国際社会の変化をふまえて多面 的・多角的に考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・地球規模での解決がせまれる民 族問題・難民問題について意欲的に 探究する。 定期考査	指導事項 ・ヨーロッパで起きた難民危機を手がかり に、難民と民族問題について理解する。 ・民族問題や紛争の歴史的背景について考察 する。	【知識及び技能】 ・民族問題や難民問題についての基本的な知 識を身につけることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・民族問題・難民問題について、多面的・多 角的に考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・民族問題・難民問題について、意欲的に探 究することができる。	○	○	○	4
				○	○		1
	日本の自然災害と防災 【知識及び技能】 ・日本の自然環境の特徴と生活文化 との関わりを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自らの生活圏の防災について、課 題と避難行動を議論する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・身近な地域で発生が予想される場 面を想定して、意欲的に対策を検討 する。	指導事項 ・日本列島の多様性や自然からの恩恵を認識 しながら、自然災害を与える要素があること を理解する。 ・新旧の地形図やハザードマップなど利用す る技能を身につける。 ・自然災害に対する備えはどうすれば良いの かを考え、居住地域での防災・減災意識の向 上につなげる。	【知識及び技能】 ・日本の自然環境の特徴と生活文化との関わ りを読図などを通して理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自らの生活圏の防災について、資料などか ら適切に判断し、課題と避難行動を議論でき る。 【学びに向かう力、人間性等】 ・身近な地域で発生が予想される場面を想定 して、意欲的に対策を検討できる。	○	○	○	4
						合計	69

高等学校（第1学年用）

教科 地理歴史科

科目

歴史総合

単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 8 組

使用教科書：（『歴史総合』（実教出版））

教科 地理歴史科

の目標：

- 【知識及び技能】 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べる技能を身につけるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想する力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追及、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 歴史総合

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・ 私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象を基に、それらが日本や日本周辺の地域及び世界の歴史とつながっていることを理解している。 ・ 資料に基づいて歴史が叙述されていることを理解している。	・ 近代化、国際秩序の変化や大衆化、グローバル化などの歴史の変化と、日本や日本周辺の地域及び世界の歴史との関連性について考察し、表現している。 ・ 複数の資料の関係を異同に着目して、資料から読み取った情報の意味や意義、特色などを考察し、表現している。	・ 中学校社会科における学習の成果を生かし、必修教科目である「歴史総合」を学ぶ意義や目的、歴史的な考察の方法やその特質について、主体的に理解を深めようとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
・ 17世紀を含めた18世紀とその前後の日本やアジアにおける生産と流通、江戸幕府の4つの口や周辺地域との貿易などを基に、18世紀の日本からみた東アジアの政治・経済と社会を理解している。	第一章 近代化への胎動	・ 17世紀を含めた18世紀とその前後の日本やアジアにおける生産と流通、18世紀から19世紀にかけての日本・清などアジア諸国の政治・経済を理解している。 ・ 17世紀を含めた18世紀とその前後の日本やアジアにおける生産・流通の変化に着目して、主題を設定し、東アジア諸地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、17世紀を含めた18世紀とその前後の日本やアジアにおける経済活動の特徴、清などアジア諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現している。	○	○	○	4
・ 18世紀とその前後のヨーロッパやアメリカ大陸、オスマン帝国における生産と流通、アヘン戦争やペリー来航をはじめアジアと欧米諸国の関係などを基に、18世紀とその前後の世界の政治と社会を理解している。	第二章 欧米の市民革命と「西洋の衝撃」	・ 18世紀とその前後のヨーロッパやアメリカ大陸、オスマン帝国における政治、各地域間や清や日本などアジア諸国と欧米諸国の貿易などを基に、18世紀とその前後の世界の経済と社会を理解している。 ・ 18世紀とその前後のヨーロッパやアメリカ大陸、オスマン帝国でのできごとや影響などに着目して、主題を設定し、世界各地の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、18世紀とその前後のヨーロッパやアメリカ大陸、東アジア諸国における経済活動の特徴、アジア各地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ・ 18世紀とその前後のヨーロッパやアメリカ大陸とアジアとの歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。	○	○	○	4
定期考査			○	○		1
・ 19世紀後半のヨーロッパの動きと日本の明治政府の政策、日本と欧米諸国の外交関係などを基に、19世紀後半のヨーロッパと日本との経済と社会を理解している。	第三章 欧米諸国と日本の国民国家形成	・ 19世紀から20世紀初頭にかけてのアジアや日本における生産と流通、アジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易などを基に、19世紀から20世紀初頭のアジアの経済と社会を理解している。 ・ 19世紀から20世紀初頭にかけての欧米諸国の帝国主義が世界に与えた影響などに着目して、主題を設定し、ヨーロッパ諸国とその他の地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、19世紀から20世紀初頭の日本における政治の特徴、アジア各地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ・ 帝国主義や日本のアジア進出に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。	○	○	○	4

1 学期

<p>・19世紀から20世紀初頭にかけての欧米諸国の帝国主義の動き、日本と東アジアの関係、アジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の進出などを基に、19世紀から20世紀初頭にかけてのアジアの政治と社会を理解している。</p>	<p>・帝国主義がどのような理由で誕生したのかに多面的に考察させる。・アフリカや太平洋が植民地として欧米列強から狙われた理由に気づかせる。</p>	<p>・19世紀後半のヨーロッパや日本における政治、ヨーロッパ各地域間や日本と欧米諸国の関係などを基に、19世紀後半のヨーロッパと日本の政治と社会を理解している。 ・19世紀後半のヨーロッパの動きと日本との関連に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。 ・19世紀後半の欧米諸国が日本に与えた影響などに着目して、主題を設定し、ヨーロッパ諸国とその他の地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、19世紀後半のヨーロッパにおける政治活動の特徴、ヨーロッパ各地域間の関係、日本と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p>	<p>○ ○ ○</p>	<p>4</p>
<p>定期考査</p>			<p>○ ○</p>	<p>1</p>
<p>・19世紀から20世紀初頭にかけての欧米諸国の帝国主義の動き、日本と東アジアの関係、アジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の進出などを基に、19世紀から20世紀初頭にかけてのアジアの政治と社会を理解している。</p>	<p>第四章 帝国主義の時代</p>	<p>・19世紀から20世紀初頭にかけてのアジアや日本における生産と流通、アジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易などを基に、19世紀から20世紀初頭のアジアの経済と社会を理解している。 ・帝国主義や日本のアジア進出に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>	<p>○ ○ ○</p>	<p>4</p>
<p>・第一次世界大戦の展開、日本やアジアの経済成長、ソヴィエト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭、ナショナリズムの動向と国際連盟の成立などを基に、総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制を理解している。大衆の政治参加と女性の地位向上、大正デモクラシーと政党政治、大量消費社会と大衆文化、教育の普及とマスメディアの発達などを基に、大衆社会の形成と社会運動の広がりを理解している。</p>	<p>第五章 第一次世界大戦と大衆社会</p>	<p>・第一次世界大戦の展開、日本やアジアの経済成長、ソヴィエト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭、ナショナリズムの動向と国際連盟の成立などを基に、総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制を理解している。大衆の政治参加と女性の地位向上、大正デモクラシーと政党政治、大量消費社会と大衆文化、教育の普及とマスメディアの発達などを基に、大衆社会の形成と社会運動の広がりを理解している。 ・第一次世界大戦の推移と第一次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響、日本の参戦の背景と影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、関連付けたりするなどして、第一次世界大戦の性格と惨禍、日本とアジア及び太平洋地域の関係や国際協調体制の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現している。第一次世界大戦前後の社会の変化などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、関連付けたりするなどして、第一次世界大戦後の社会の変容と社会運動との関連などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ・20世紀初頭から戦間期にかけての日本を中心に世界的な動きと関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>	<p>○ ○ ○</p>	<p>4</p>
<p>・第一次世界大戦の推移と第一次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響、日本の参戦の背景と影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、関連付けたりするなどして、第一次世界大戦の性格と惨禍、日本とアジア及び太平洋地域の関係や国際協調体制の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現している。第一次世界大戦前後の社会の変化などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、関連付けたりするなどして、第一次世界大戦後の社会の変容と社会運動との関連などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p>		<p>・第一次世界大戦の展開、日本やアジアの経済成長、ソヴィエト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭、ナショナリズムの動向と国際連盟の成立などを基に、総力戦と第一次世界大戦後の国際協調体制を理解している。大衆の政治参加と女性の地位向上、大正デモクラシーと政党政治、大量消費社会と大衆文化、教育の普及とマスメディアの発達などを基に、大衆社会の形成と社会運動の広がりを理解している。 ・第一次世界大戦の推移と第一次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響、日本の参戦の背景と影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、関連付けたりするなどして、第一次世界大戦の性格と惨禍、日本とアジア及び太平洋地域の関係や国際協調体制の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現している。第一次世界大戦前後の社会の変化などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、関連付けたりするなどして、第一次世界大戦後の社会の変容と社会運動との関連などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ・20世紀初頭から戦間期にかけての日本を中心に世界的な動きと関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>	<p>○ ○ ○</p>	<p>4</p>

2 学 期	定期考査			○	○	1
	・世界恐慌、ファシズムの伸張、日本の対外政策などを基に、国際協調体制の動揺を理解している。第二次世界大戦の展開、国際連合と国際経済体制、冷戦の始まりとアジア諸国の動向、戦後改革と日本国憲法の制定、平和条約と日本の独立の回復などを基に、第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解している。	第六章 経済危機と第二次世界大戦	・世界恐慌、ファシズムの伸張、日本の対外政策などを基に、国際協調体制の動揺を理解している。第二次世界大戦の展開、国際連合と国際経済体制、冷戦の始まりとアジア諸国の動向、戦後改革と日本国憲法の制定、平和条約と日本の独立の回復などを基に、第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解している。・経済危機の背景と影響、国際秩序や政治体制の変化などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、各国の世界恐慌への対応の特徴、国際協調体制の動揺の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。第二次世界大戦の推移と第二次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響、第二次世界大戦後の国際秩序の形成が社会に及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、第二次世界大戦の性格と惨禍、第二次世界大戦下の社会状況や人々の生活、日本に対する占領政策と国際情勢との関係などを多面的・多角的に考察し、表現している。・世界恐慌やナチス・ドイツ誕生の頃から第二次世界大戦の後の日本の独立回復までの日本と世界の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。	○	○	5
	・経済危機の背景と影響、国際秩序や政治体制の変化などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、各国の世界恐慌への対応の特徴、国際協調体制の動揺の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。第二次世界大戦の推移と第二次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響、第二次世界大戦後の国際秩序の形成が社会に及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、第二次世界大戦の性格と惨禍、第二次世界大戦下の社会状況や人々の生活、日本に対する占領政策と国際情勢との関係などを多面的・多角的に考察し、表現している。		・世界恐慌、ファシズムの伸張、日本の対外政策などを基に、国際協調体制の動揺を理解している。第二次世界大戦の展開、国際連合と国際経済体制、冷戦の始まりとアジア諸国の動向、戦後改革と日本国憲法の制定、平和条約と日本の独立の回復などを基に、第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解している。・経済危機の背景と影響、国際秩序や政治体制の変化などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、各国の世界恐慌への対応の特徴、国際協調体制の動揺の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。第二次世界大戦の推移と第二次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響、第二次世界大戦後の国際秩序の形成が社会に及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、第二次世界大戦の性格と惨禍、第二次世界大戦下の社会状況や人々の生活、日本に対する占領政策と国際情勢との関係などを多面的・多角的に考察し、表現している。・世界恐慌やナチス・ドイツ誕生の頃から第二次世界大戦の後の日本の独立回復までの日本と世界の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。	○	○	4
定期考査			○	○	1	
	・脱植民地化とアジア・アフリカ諸国、冷戦下の地域紛争、先進国の政治の動向、軍備拡張や核兵器の管理などを基に、国際政治の変容を理解している。西ヨーロッパや東南アジアの地域連携、計画経済とその波及、日本の高度経済成長などを基に、世界経済の拡大と経済成長下の日本の社会を理解している。	第七章 冷戦と脱植民地化	・脱植民地化とアジア・アフリカ諸国、冷戦下の地域紛争、先進国の政治の動向、軍備拡張や核兵器の管理などを基に、国際政治の変容を理解している。西ヨーロッパや東南アジアの地域連携、計画経済とその波及、日本の高度経済成長などを基に、世界経済の拡大と経済成長下の日本の社会を理解している。・地域紛争の背景と影響、冷戦が各国の政治に及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、地域紛争と冷戦の関係、第三世界の国々の経済政策の特徴、欧米やソビエト連邦の政策転換の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。冷戦が各国経済に及ぼした影響、地域連携の背景と影響、日本の高度経済成長の背景と影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、冷戦下の世界経済や地域連携の特徴、経済成長による生活や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。・1950年代の冷戦期から1970年代の石油危機で日本の高度経済成長期がおわるころの日本を中心に世界的な動きと関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。	○	○	4

3 期	<p>・石油危機、アジアの諸地域の経済発展、市場開放と経済の自由化、情報通信技術の発展などを基に、市場経済の変容と課題を理解している。冷戦の終結、民主化の進展、地域統合の拡大と変容、地域紛争の拡散とそれへの対応などを基に、冷戦終結後の国際政治の変容と課題を理解している。</p>	<p>第八章 多極化する社会 第九章 グローバル化と現代世界</p>	<p>・石油危機、アジアの諸地域の経済発展、市場開放と経済の自由化、情報通信技術の発展などを基に、市場経済の変容と課題を理解している。冷戦の終結、民主化の進展、地域統合の拡大と変容、地域紛争の拡散とそれへの対応などを基に、冷戦終結後の国際政治の変容と課題を理解している。・アジアの諸地域の経済発展の背景、経済の自由化や技術革新の影響、資源・エネルギーと地球環境問題が世界経済に及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、市場経済のグローバル化の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現している。冷戦の変容と終結の背景、民主化や地域統合の背景と影響、地域紛争の拡散の背景と影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、冷戦終結後の国際政治の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現している。・1970年代に入り石油危機などが起きたころから21世紀の現代までの日本と世界の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1
							合計

高等学校

教科

数学

科目 数学 I

教科： 数学

科目： 数学 I

単位数： 3 単位

対象学年組： 第 1 学年 7 組～ 8 組

使用教科書： (『NEXT数学 I 』 (数研出版))

教科 数学 の目標：

【知識及び技能】 数学における基本的な概念や原理等を理解し、数学的に解釈し、表現・処理する技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 数学的を活用し事象を考察し、数学的な表現を用いて事象を表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く問題に取り組む態度を養う。

科目 数学 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数と式、2次関数、図形と計量及びデータの分析において、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの知識・技能を身に付けている。	数と式、2次関数、図形と計量及びデータの分析において、事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身に付けている。	数と式、2次関数、図形と計量及びデータの分析における考え方に興味をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを活用し事象の考察を行う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 無理数を含めた実数全体の四則計算をすること。 二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深めること。 不等式の解の意味や性質について理解し、一次方程式の解を求めること。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> すでに学習した計算方法を関連付け、式を多面的に捉えて適切に変形したりすること。 日常の事象を数学的に捉えて、一次不等式を問題解決に活用すること。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 事象を数と式の考えを用いて考察する良さを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考えたりすること。 	<p>指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 式の計算 実数 1次不等式 	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 乗法公式や因数分解の公式の意味を理解している。 有理数と無理数の違い、および実数について理解している。 不等式における解の意味を理解している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 式の特徴に着目して変形したり、式を1つの文字におき換えたりすることによって、式の計算を簡略化することができる。 四則計算を可能にするために数に拡張されてきたことを理解している。 身近な問題を1次不等式の問題に帰着させることができ、問題を解くことができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 式の展開や因数分解に関心をもち、目的に応じて式を変形しようとする。 複雑な式の展開やいろいろな因数分解では、置き換えや式の変形などを利用しようとする。 絶対値記号を含んだ方程式や不等式の扱い方を理解し、解いてみようとする。 		○	○	○	20
<p>定期考査</p>						1	
<p>集合と論証</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 集合と命題に関する基本的な概念を理解すること。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 集合の考えを用いて論理的に考察し、簡単な命題を証明すること。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 事象を集合の考えを用いて考察する良さを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考えたりすること。 	<p>指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 集合と論証 	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 命題$p \Rightarrow q$が真であることが、条件を満たす集合の包含関係と対応していることとらえることができる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ド・モルガンの法則の意味を理解し、問題解決に利用することができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ド・モルガンの法則に気づき、この法則を問題解決に活用しようとする。 		○	○	○	9
<p>定期考査</p>						1	
<p>2次関数</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 2次関数の値の変化やグラフの特徴について理解すること。 2次関数の最大値・最小値を求めること。 2次方程式と2次関数のグラフの関係について理解すること。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 2次関数の式とグラフの関係についてPCなどの情報機器を用いてグラフを書くなどして考察すること。 2つの数量の関係に注目して日常の事象を数学的に捉え考察すること。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 事象を二次関数の考えを用いて考察する良さを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考えたりすること。 	<p>指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 2次関数とそのグラフ 2次方程式と2次不等式 	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 座標平面上で、$y = ax^2$のグラフを平行移動していく過程を作業を通して理解し、グラフをかくことができる。 関数$y = ax^2 + bx + c$を$y = a(x-p)^2 + q$の形に変形することができる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> $y = ax^2 + bx + c$のグラフとx軸との共有点のx座標と2次方程式や2次不等式の解について考察できる。 共有点の個数を$D = b^2 - 4ac$を計算することにより、その符号で判断できる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 関数関係を変化する2つの量の関係としてとらえ、式やグラフに表すことに関心をもち、 2次関数のグラフとx軸との位置関係について調べて、2次不等式の解のタイプに関心をもち、 		○	○	○	30
<p>定期考査</p>						1	

2 学期	図形と計量 【知識及び技能】 ・三角比の意味と相互関係について理解すること。 ・鋭角の三角比から鈍角の三角比まで拡張し求める方法を理解すること。 ・正弦定理や余弦定理について三角形の決定条件等と関連付けて理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 ・図形における諸関係を三角比を用いて表現すること。 ・図形における諸関係から日常の事象を数学的に捉えて、考察できること。 【学びに向かう力、人間性等】 ・事象を図形と計量の考えを用いて考察する良さを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考えたりすること。	指導事項 ・三角比 ・三角比と図形の計量	【知識及び技能】 ・座標平面上の半円を用いて、鈍角まで拡張した三角比について考察することができる。 ・三角比を用いて、三角形の面積表す過程や空間図形の計量の考察をすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・三角比の相互関係を用いて、与えられた三角比の値から残りの三角比の値を求めることができる。 ・三角比や正弦定理・余弦定理などを用いて平面図形や空間図形を計量することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・三角比の相互関係に関心をもち、考察しようとする。 ・正弦定理や余弦定理を用いて、三角形の辺の長さや角の大きさを調べようとする。	○	○	○	26
	定期考査						1
3 学期	データの分析 【知識及び技能】 ・分散、標準偏差、散布図及び相関係数の意味・用い方を理解すること。 ・情報機器を用いてデータや表やグラフを整理して、基本的な統計量を求めたりすること。 【思考力、判断力、表現力等】 ・データの散らばり具合や傾向を数値化する方法を考察すること。 ・不確実な事象の起こりやすさに着目し、主張の妥当性について、実験を通じて判断したり、批判的に考察したりすること。 【学びに向かう力、人間性等】 ・事象をデータの分析の考えを用いて考察する良さを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考えたりすること。	指導事項 ・データの整理 ・データの分析	【知識及び技能】 ・整理した表、図、値などの意味を理解し、そのデータの特性や法則性を的確にとらえることができる。 ・2つの変量の相関係数を求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・箱ひげ図を用いてデータの散らばりを表すことができる。 ・整理した表、図、値などの意味を理解し、そのデータの特性や法則性を的確にとらえることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・データから適切な代表値を得て、散らばり具合を整理し全体の傾向をつかもうとする。 ・データから適切な代表値を得て、散らばり具合を整理し全体の傾向をつかもうとする。	○	○	○	15
	定期考査						1
							合計
							105

高等学校（1学年用）教科

数学 科目 数学A

教科：数学

科目：数学A

単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 8 組

使用教科書：（『NEXT数学A』（数研出版））

教科 数学 の目標：

【知識及び技能】数学における基本的な概念や原理等を理解し、数学的に解釈し、表現・処理する技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】数学的を活用し事象を考察し、数学的な表現を用いて事象を表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く問題に取り組む態度を養う。

科目 数学A の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
図形の性質、場合の数と確率についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けようとする。	図形の構成要素の関係などに着目し、図形の性質を見出し、論理的に考察し、不確実な事象に着目し、事象を数学的に判断する力、数理的に考察する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、数学的論拠に基づいて判断する態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期 場合の数と確率 【知識及び技能】 ・集合に関する基本的な関係や法則、原則について理解すること。 ・順列の総数や組み合わせの総数を求めることができる。 ・確率の意味や基本的法則について理解し、様々な事象の確率、期待値を求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・事象の構造、確率の法則や性質に着目し、場合の数や確率を多面的に求めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・事象を場合の数や確率の考えを用いて考察する良さを認識し問題解決に活用しようとしたり、粘り強く考えたりする。	指導事項 ・場合の数 ・確率	【知識及び技能】 ・順列や組合せの総数を表す記号を用いることのよさを認識できる。 ・いろいろな場面に応じて、場合の数や確率の求め方を考えることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・起こり得る場合の数について、「同様に確からしい」ことに着目して正確かつ能率的に教えあげる方法を見いだし、考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・順列や組合せの意味を理解し、公式を導く過程に興味を示す。 ・確率の考え方のよさを認識して、いろいろな事象の考察に活用しようとする。また、反復試行や条件付き確率の考え方について関心をもつ。	○	○	○	22
定期考査						1
定期考査						1
2 学期 図形の性質 【知識及び技能】 ・三角形に関する基本的な性質について理解すること。 ・円に関する基本的な性質について理解すること。 ・空間図形に関する基本的な性質について理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 ・図形の構成要素間の関係や既習の図形の性質に着目し、図形の新たな性質を見出したり、考察したりする。 【学びに向かう力、人間性等】 ・事象を図形の性質の考えを用いて考察する良さを認識し問題解決に活用しようとしたり、粘り強く考えたりする。	指導事項 ・三角形の性質 ・円の性質 ・空間図形	【知識及び技能】 ・三角形の性質、円の性質を用いているいろいろな線分の比や長さ、角度を求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・図形に関する定理、性質の証明を通じて考察することができる。 ・空間図形について、直線や平面の位置関係を答えたり、2直線や2平面のなす角を求めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・平面図形の性質に興味・関心を持ち、三角形の性質を利用しようとする。 ・空間図形の問題を、平面図形や空間図形の性質を用いて解決しようとする。	○	○	○	23
定期考査						1
定期考査						1
3 学期 数学と人間の活動 【知識及び技能】 ・図形や数量に関する概念と人間の活動との関わりについて理解すること。 ・数学史的な話題、数理的なパズルなどを通じて数学と文化との関わりについて理解を深めること。 【思考力、判断力、表現力等】 ・数量や図形に関する概念などの関心から発展し考察すること。 ・パズルなどに数学的な要素を見出し、目的に応じて数学的活用を考察できること。 【学びに向かう力、人間性等】 ・人間活動における数学のよさを認識し問題解決に活用しようとしたり、粘り強く考えたりする。	指導事項 ・数と人間の活動 ・図形と人間の活動 ・遊びの中の数学	【知識及び技能】 ・相似や三平方の定理の性質を理解し、適切に用いることができる。 ・互除法を用いて、2数の最大公約数を求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・素数や約数についての考え方や素因数分解を活用して、整数の性質を考察することができる。 ・除法における商と余りを活用して、整数の約数を考察することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・数と人間の活動のかかわりについて関心を持ち、調べようとする。 ・図形に関する概念などと人間の活動との関わりについて関心を持つ。	○	○	○	20

定期考査					1
					合計
					70

高等学校(1学年用) 教科

数学 科目 数学 I

教科: 数学 科目: 数学 I

単位数: 3 単位

対象学年組: 第 1 学年 1 組 ~ 6 組

使用教科書: (『NEXT数学 I』(数研出版))

教科 数学 の目標:

- 【知識及び技能】 数学における基本的な概念や原理等を理解し、数学的に解釈し、表現・処理する技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 数学的を活用し事象を考察し、数学的な表現を用いて事象を表現する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く問題に取り組む態度を養う。

科目 数学 I の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数と式、2次関数、図形と計量及びデータの分析において、事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの知識・技能を身に付けている。	数と式、2次関数、図形と計量及びデータの分析において、事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることを通して、数学的な見方や考え方を身に付けている。	数と式、2次関数、図形と計量及びデータの分析における考え方に興味をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを活用し事象の考察を行う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	相当 時数
<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 無理数を含めた実数全体の四則計算をすること。 二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深めること。 不等式の解の意味や性質について理解し、一次方程式の解を求めること。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> すでに学習した計算方法を関連付け、式を多面的に捉えて適切に変形したりすること。 日常の事象を数学的に捉えて、一次不等式を問題解決に活用すること。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 事象を数と式の考えを用いて考察する良さを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考えたりすること。 	<p>指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 式の計算 実数 1次不等式 	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 乗法公式や因数分解の公式の意味を理解している。 有理数と無理数の違い、および実数について理解している。 不等式における解の意味を理解している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 式の特徴に着目して変形したり、式を1つの文字におき換えたりすることによって、式の計算を簡略化することができる。 四則計算を可能にするために数が拡張されてきたことを理解している。 身近な問題を1次不等式の問題に帰着させることができ、問題を解くことができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 式の展開や因数分解に関心をもち、目的に応じて式を変形しようとする。 複雑な式の展開やいろいろな因数分解では、置き換えや式の変形などを利用しようとする。 絶対値記号を含んだ方程式や不等式の扱い方を理解し、解いてみようとする。 	○	○	○	17
<p>定期考査</p> <p>集合と論証</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 集合と命題に関する基本的な概念を理解すること。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 集合の考えを用いて論理的に考察し、簡単な命題を証明すること。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 事象を集合の考えを用いて考察する良さを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考えたりすること。 	<p>指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 集合と論証 	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 命題$p \Rightarrow q$が真であることが、条件を満たす集合の包含関係と対応していることとらえることができる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ド・モルガンの法則の意味を理解し、問題解決に利用することができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ド・モルガンの法則に気付き、この法則を問題解決に活用しようとする。 	○	○	○	5
<p>2次関数</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 2次関数の値の変化やグラフの特徴について理解すること。 2次関数の最大値・最小値を求めること。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 2次関数の式とグラフの関係についてPCなどの情報機器を用いてグラフを書くなどして考察すること。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 事象を二次関数の考えを用いて考察する良さを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考えたりすること。 	<p>指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 2次関数とそのグラフ 	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 座標平面上で、$y = ax^2$のグラフを平行移動していく過程を作業を通して理解し、グラフをかきことができる。 関数$y = ax^2 + bx + c$を$y = a(x-p)^2 + q$の形に変形することができる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> $y = ax^2 + bx + c$のグラフとx軸との共有点のx座標と2次方程式や2次不等式の解について考察できる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 関数関係を変化する2つの量の関係としてとらえ、式やグラフに表すことに興味をもつ。 	○	○	○	23
<p>定期考査</p>			○	○		1
<p>2次関数</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 2次方程式と2次関数のグラフの関係について理解すること。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 2次関数の式とグラフの関係についてPCなどの情報機器を用いてグラフを書くなどして考察すること。 2つの数量の関係に注目して日常の事象を数学的に捉え考察すること。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 事象を二次関数の考えを用いて考察する良さを認識し、問題解決にそれらを活用しようとしたり、粘り強く考えたりすること。 	<p>指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 2次方程式と2次不等式 	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 2次方程式を、因数分解や解の公式を利用して解くことができる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 共有点の個数を$D = b^2 - 4ac$を計算することにより、その符号で判断できる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 2次関数のグラフとx軸との位置関係について調べて、2次不等式の解のタイプに関心をもつ。 	○	○	○	11

深川 高等学校（1学年用） 教科

理科

科目 化学基礎

教科： 理科

科目： 化学基礎

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 6 組

使用教科書：（『高等学校 化学基礎』（数研出版））

教科 理科

の目標：

【知識及び技能】日常生活で見られる自然現象を、科学的体系的に捉えていく基本的技能と知識を身につける。

【思考力、判断力、表現力等】基本的知識をもとに考え推測したことを、文章や図表などで表現することができる。

【学びに向かう力、人間性等】自然現象に関心を持ち、自ら調べ疑問を解決する態度とスキルを育成する。

科目 化学基礎

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら、物質とその変化についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付ける。	習得した「知識・技能」を活用して、物質とその変化から課題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、文章や図表などで表現するなど科学的に課題を解決できる思考力・判断力・表現力を身に付ける。	知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力などを身につける過程において、化学や化学現象に対して主体的に関わり、それらに対する気付きから課題を設定し解決しようとする態度、粘り強く学習に取り組むなど、科学的に探究しようとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
序章 化学の特徴 第1編 物質の構成と化学結合 第1章 物質の構成 多種多様な物質を観察することによって、それらを整理・分類する。共通した要素や、個々の相違点を調べることによって、物質の成りたてを追求する。 1 純物質と混合物 2 物質とその成分 3 物質の三態と熱運動	・元素が元素記号で表されることを理解する。物質が単体や化合物に分けられ、さらに単体には性質が異なる同素体があることも理解する。成分元素の検出方法も学ぶ。 ・化学の特徴として、化学の探究に必要な課題の発見から解決方法までを、テーマ・仮説設定、実験計画、実験の実施、レポートの作成、発表を通して学ぶ。物質が純物質と混合物とに分類されることを理解する。混合物から純物質を得る分離・精製する方法を理解し、実験を通してその操作法を体得する。 ・物質に固体・液体・気体の3つの状態があることを確認し、それぞれの状態での分子の熱運動のようすが異なっていることを理解する。あわせて、相互の変化には熱の出入りが伴うことを理解する。	【知】混合物を分離する操作法をあげることができる。C、O、P、Sの同素体をあげることができる。また、代表的な成分元素について検出法を理解することができる。物質の三態について、熱運動のようすを踏まえて説明することができる。 【思】純物質と混合物の違いを説明できる。いろいろな物質を単体と化合物に分類することができる。また、単体と化合物の違いについて説明できる。物質を加熱したり冷却したりしたときの温度変化のグラフを理解できる。 【態】身のまわりの物質が純物質と混合物に分類されることに興味をもつ。元素の概念に興味をもつ。日常生活の中の物質の状態変化について興味をもつ。	○	○	○	6
第2章 物質の構成粒子 物質を理解する基礎として、物質を構成する基礎的な粒子である原子と、原子から生じるイオンや原子が種々の方法で結合した物質について、その構造や表し方、それらの関係学ぶ。 1 原子とその構造 2 イオン 3 周期表	・原子の構造を理解し、同位体が存在することを理解する。 ・原子の電子配置と価電子の意味を理解する。イオンが貴ガスと同じ電子配置をとって安定化していることを理解するとともに、多原子イオンの種類や化学式を学ぶ。 ・原子のイオン化エネルギーと電子親和力を理解する。 ・周期律と周期表の特徴を理解する。価電子の数の周期的変化に注目する。イオン化エネルギーの周期的変化にも留意する。 ・周期表上での元素の分類について、典型元素と遷移元素の特徴、金属元素と非金属元素の特徴、同族元素の名称と特徴について学ぶ。	【知】原子の構成粒子の種類、およびその個数・電荷・質量の関係について理解している。単原子イオンの電子配置を示すことができる。周期表について周期律を理解する。 【思】原子についてどのような粒子から構成されているかを説明することができる。イオンの電子配置を希ガスの電子配置と関連付けて説明ができる。イオンとイオン化エネルギーまたは電子親和力と関連付けて説明できる。周期表中の周期律を見いだせる。 【態】原子がいくつかの粒子から構成されていることに気づく。原子とイオンの違いについて興味をもつ。元素の典型・遷移、金属・非金属、陽性・陰性、および同族元素を理解している。	○	○	○	6
定期考査			○	○	○	1
1 学期 第3章 粒子の結合 物質が連続性をもちたない小さな粒子からなることは中学校で学習しているが、個々の粒子がどのようなしくみで結合しているかは、簡単に触れただけで終わっている。ここでは、それらをさらに詳しく扱うことによって、物質の性質との関連も同時に学ぶ。 1 イオン結合とイオン結晶 2 共有結合と分子 3 分子間にはたらく力 4 高分子化合物 5 共有結合の結晶 6 金属結合と金属結晶	・原子や原子団がイオンになる理論、またイオンがどのような力によって結合するかを学ぶ。イオンからなる物質の種類や表し方・特徴的な性質を理解する。 ・価電子を共有するという方法でも結びつくことを理解する。 ・共有結合からなる物質を表す分子式、電子式や構造式を学ぶ。 ・配位結合について学び、錯イオンについても理解する。 ・電気陰性度を理解し、その強さの違いにより電子のかたよりが生じることを学ぶ。その結果、分子の形によって極性分子と無極性分子ができ、溶媒への溶けやすさが異なることを学ぶ。分子間力によって形成される分子結晶の性質と分子結晶からなる代表的な物質について学ぶ。 ・高分子化合物について学ぶ。 ・無数の原子が共有結合により結合した物質である共有結合の結晶の性質と、代表的な物質について学ぶ。金属元素の原子どうしがイオン結合や共有結合と異なるしくみで結合することを理解し、具体的に金属が身のまわりでどのように利用されているかも学ぶ。	【知】イオン結晶の名称と組成式を表す方法を理解している。また、イオンからなる物質の特徴を示すことができる。共有結合を理解し、さまざまな分子を電子式と構造式で表すことができる。配位結合が含まれるイオンについて理解している。高分子化合物の成り立ちや構造を理解している。共有結合の結晶の構造や粒子間にはたらく力とその性質を理解している。金属が組成式で表せることや金属の性質を理解している。 【思】イオン結晶の性質を説明できる。原子間の共有結合を考慮することによって分子の構造を予想できる。塩化アンモニウム結晶にどのような結合があるかを説明できる。付加重合や縮合重合のしくみについて説明できる。ダイヤモンドと黒鉛の性質の違いを構造から説明できる。金属特有の性質が自由電子によるものであることに気づき、金属結合および金属結晶の性質について説明できる。 【態】身のまわりにあるイオン結晶の物質に興味をもつ。身のまわりにある分子からなる物質の成りたちについて興味をもつ。通常の共有結合とはしくみの異なる配位結合について興味をもつ。原子がとて長くつながった分子である高分子化合物に興味をもつ。共有結合の結晶にどのような物質があるかに興味をもつ。金属特有の性質に興味をもつ。	○	○	○	12
第2編 物質の変化 第1章 物質と化学反応式 物質の質量と、物質を構成する原子・分子・イオンなどの質量や数との関係や、気体についてはさらに体積との関係や、化学の学習に欠かすことのできない物質の考え方を身につける。 1. 原子量・分子量・式量 2. 物質質量 定期考査	・異なる元素の原子どうしの質量が比較でき、それにより分子量や式量の定義を学ぶ。 ・ある一定の量をつきの単位として扱う、物質の概念を学ぶ。 ・物質量の数値的な扱い方を体得する。気体は物質量と体積も関係があることを理解する。	【知】原子量・分子量・式量の定義を理解している。物質量の定義を理解している。 【思】同位体の天然存在比から原子量を導くことができる。アボガドロ定数・モル質量・モル体積を用いて、物質量の計算ができる。 【態】同じ原子でも異なる質量があることに興味をもつ。物質量の概念について興味をもつ。	○	○	○	7
定期考査			○	○		1
第2編 物質の変化 第1章 物質と化学反応式 3. 溶液の濃度 4. 化学反応式と物質質量 定期考査	・質量パーセント濃度やモル濃度の定義を学び、扱いに慣れる。 ・固体の溶解度の表し方と溶解度曲線について理解し、溶解量や再結晶における析出量の計算方法を身につける。 ・化学変化を化学反応式やイオン反応式で表すことを学び、化学反応式が表す量的関係を把握できるようにする。 ・また、化学の基礎法則について、原子説の発見までの法則と分子説発見までの法則という流れから理解する。	【知】濃度の表し方について、いろいろな方法があることを理解している。化学反応における、物質質量、粒子の数、質量、気体の体積などの量的な関係を、化学反応式から読み取ることができる。 【思】質量パーセント濃度とモル濃度の計算ができる。また、濃度の変換ができる。化学反応式を表すことができる。また、化学反応式の係数から量的関係を計算して求めることができる。 【態】濃度の表し方について興味をもつ。化学反応式をもとに量的な関係をつかむことができる。	○	○	○	9
定期考査			○	○	○	1

高等学校

教科 国語

科目 現代の国語

教科： 国語 科目： 現代の国語
 対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 8 組

単位数： 2 単位

使用教科書： 『増補新版 現代の国語』（数研出版）

教科 国語 の目標：

- 【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につける。
- 【思考力、判断力、表現力等】的確に理解したものを適切に表現する力を身につけ、他者との関わりの中で伝え合う力を高める。
- 【学びに向かう力、人間性等】言葉を通して積極的に他者や社会と関わろうとする態度を身につける。

科目 現代の国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
コミュニケーション能力とは何か（内田樹） 【知識及び技能】 ・常用漢字や語句・語彙、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、構造や特色などを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・筆者の主張に説得力を持たせるための論の展開について考える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・反論を示すことで自分の主張の正しさを補強する推論の仕方を理解し、論理の展開を把握する。	指導事項 ・主題に至る論の構造を把握し、主張に説得力を持たせるための論理展開について考える。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 ・教材…コミュニケーション能力とは何か（内田樹）	【知識及び技能】 ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自己と他者に関する筆者の主張に説得力を持たせるための論の展開について考えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・反論を示すことによって自分の主張の正しさを補強する推論の仕方を理解し、丁寧に論理の展開を把握しようとしている。	○	○	○	5
水の東西（山崎正和） 【知識及び技能】 ・常用漢字や語句・語彙、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、構造や特色などを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・東西の対比関係から、日本の水文化の特徴を捉える叙述方法を把握する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・情報と情報を対比させ展開する評論を粘り強く読み、論理の展開を分析する。	指導事項 ・東西の対比関係を用いながら、日本の水文化に見られる特徴について論じる叙述方法を把握する。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・東西の文化を比較して述べた文章を読み、自分の意見や考えを伝える。 ・教材…水の東西（山崎正和）	【知識及び技能】 ・本文中の語句・語彙、文章の効果的な組立て方や接続の仕方の構造や特色を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・東西の対比関係を用い、日本の水文化に見られる特徴を論じる叙述方法を把握している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・情報と情報の対比から展開する評論を粘り強く読み、学習課題に沿って分析しようとしている。 ・文章を読み、自分の考えを積極的にまとめようとしている。	○	○	○	5
定期考査 ものことば（鈴木孝夫） 【知識及び技能】 ・常用漢字や語句・語彙、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、構造や特色などを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自分の考えや事柄を的確に伝えるために、構成や表現の仕方を工夫する。 ・具体（例示）と抽象（意見）の関係を整理して論理構成を把握し、筆者が主張する言語の性質を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・具体例を示し展開を理解する。	指導事項 ・具体（例示）と抽象（意見）の関係を整理して論理構成を把握し、筆者が主張する言語の性質を理解する。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・言語について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ・教材…ものことば（鈴木孝夫）	【知識及び技能】 ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章を読み、自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫している。 ・具体（例示）と抽象（意見）の関係を整理して論理構成を把握し、筆者が主張する言語の性質を理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・具体例を示しながら展開する評論を粘り強く読み、	○	○	○	5
羅生門（芥川龍之介） 【知識及び技能】 ・常用漢字や語句・語彙、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、構造や特色などを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・下人の行動や心理をもとに場面の展開を捉え、老婆の論理が下人の決断に与えた影響を読み取ることで、根拠の示し方や説明の仕方、表現の仕方を工夫して自分の考えを的確に伝える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自分の意見や考えを論述するための文章の内容や構成、論理の展開の仕方などを積極的に捉える。	指導事項 ・下人の行動や心理をもとに場面の展開を論理的に捉え、老婆の語る論理が下人の決断に与えた影響を読み取る。 ・作品の展開や表現について自分の考えを伝える。 ・教材…羅生門（芥川龍之介）	【知識及び技能】 ・本文中の常用漢字・語句・語彙・文章の組立て方や接続についてよく理解し、得られた知識を活用できている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章を的確に読み取り、根拠の示し方や説明の仕方、表現の仕方を工夫して自分の考えを的確に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自分の意見や考えを論述するために、文章の内容や構成、論理の展開の仕方などを積極的に捉えようとしている。	○	○	○	5
定期考査						1
文章トレーニング1～5 【知識及び技能】 ・文章や語句の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解し、使用する。 ・主張と論拠など、情報と情報との関係について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自分の考えが的確に伝えるため、立場や考えを明確にし、構成や展開を工夫する。 ・読み手が理解できるように、根拠の示し方や論理の展開などを考え、表現を工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・主張と根拠と理由付けとの関係性を理解し、話し合う。	指導事項 ・論理的に表現するための、主張と理由の関係性や妥当性について理解する。 ・説得力を意識した表現の仕方について理解する。 ・教材…文章トレーニング1～5	【知識及び技能】 ・文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解し使っている。 ・主張と論拠など情報と情報との関係について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自分の考えが聞き手に的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするなど、話の構成や展開を工夫している。 ・読み手の理解が得られるよう、根拠の示し方や論理の展開などを考えて、文章の構成や展開、表現を工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・進んで主張と根拠と理由付けの関係性を理解し、学習課題に沿って話し合ったりしようとしている。	○	○	○	4

<p>わらしべ長者の経済学 (梶井厚志)</p> <p>【知識及び技能】 ・常用漢字や語句・語彙、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、構造や特色などを理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・対比から論理構成を把握し、日本文化と日本人の行動様式を理解する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・情報と情報を対比させ、展開する評論を丁寧に読み、論理の展開を分析する。</p>	<p>指導事項 ・文章を分析的に読み、対比構造を用いた論理の展開について理解する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、文章の構成や論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。</p> <p>・教材…わらしべ長者の経済学 (梶井厚志)</p>	<p>【知識及び技能】 ・本文中の主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・文章を読み、本文の要旨を的確に捉えている。 ・対比による論理構成を把握し、日本文化および日本人の行動様式の特徴を理解している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・情報と情報を対比させながら展開する評論を粘り強く読み、論理の展開を分析しようとしている。</p>	○	○	○	5
<p>ポスト・ブライバシー (阪本俊生)</p> <p>【知識及び技能】 ・常用漢字や語句・語彙、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、構造や特色などを理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・読み手の理解を得るために、自分の考えや事柄を的確に伝え、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫する。 ・筆者が主張する科学と技術の違いを対比的に整理し、科学と技術の関係を理解する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・接続に注目し、文章構成をつかむ。 ・主張と論拠を読み取り、表現の仕方を工夫して自分の考えをまとめる。</p>	<p>指導事項 ・筆者が主張する科学と技術の違いを対比的に整理し、現状における科学と技術の関係を理解する。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・科学や技術について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する方法を学ぶ。</p> <p>・教材…ポスト・ブライバシー (阪本俊生)</p>	<p>【知識及び技能】 ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・文章を読み、自分の考えや事柄を的確にまとめることができる。 ・筆者が主張する科学と技術の違いを対比的に整理し、現状における科学と技術の関係を理解している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・接続の仕方に注目して文章の構成をつかもうとしている。 ・文章から主張と論拠を読み取り、表現の仕方を工夫して自分の考えをまとめようとしている。</p>	○	○	○	6
<p>定期考査</p>						1
<p>夢十夜 (夏目漱石)</p> <p>【知識及び技能】 ・常用漢字や語句・語彙、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、構造や特色などを理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・「夢」という非日常性を持った世界で、「自分」の判断の根拠を読み解くなど、根拠の示し方や説明、表現を工夫し自分の考えを的確に伝える。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・自分の意見や考えを論述で、構成や論理の展開を積極的に捉える。</p>	<p>指導事項 ・「夢」という非日常性を持った世界において、「自分」は何を判断の根拠としているかを読み解く。 ・作品の展開や表現について自分の考えを伝える。</p> <p>・教材…夢十夜 (夏目漱石)</p>	<p>【知識及び技能】 ・本文中の常用漢字・語句・語彙・文章の組立てや接続についてよく理解し、得られた知識を活用できている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・文章を的確に読み取り、根拠の示し方や説明の仕方、表現の仕方を工夫して自分の考えを的確に伝えることができている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・自分の意見や考えを論述するために、文章の内容や構成、論理の展開の仕方などを積極的に捉えようとしている。</p>	○	○	○	6
<p>未来世代への脅威 (戸谷洋志)</p> <p>【知識及び技能】 ・常用漢字や語句・語彙、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、構造や特色などを理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・読み手が理解できるように、自分の考えや事柄を的確に伝え、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫する。 ・「社会的共通資本」と「フェアな競争」の関係を押さえ、筆者の論の進め方を捉える。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・書き手の意図を積極的に解釈し、自分の考えを伝える。 ・哲学者の事績を粘り強く調べ、内容との関わりをまとめる。</p>	<p>指導事項 ・筆者が自説を述べるための論の進め方を捉え、現在世代と未来世代の関係を押さえる。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 ・現代の社会や政治について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。</p> <p>・教材…未来世代への脅威 (戸谷洋志)</p>	<p>【知識及び技能】 ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・文章を読み、自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫する。 ・筆者が自説を述べるための論の進め方を捉え、現在世代と未来世代の関係を押さえる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・書き手の意図を積極的に解釈し、それに対する自分の考えを書いて伝える。 ・本文で示された哲学者の事績について粘り強く調べ、内容との関わりがわかるようにまとめる。</p>	○	○	○	6
<p>時間と自由の関係について (内山節)</p> <p>【知識及び技能】 ・常用漢字や語句・語彙、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、構造や特色などを理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・自分の考えや事柄を的確に伝えられるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫する。 ・具体的事例から一般論への展開や、対比の構造から、近代化と時間の合理性の関係を理解する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・対比を理解し、要旨をまとめる。 ・既習の評論と読み比べ、持続可能な社会に関する意見文を書く。</p>	<p>指導事項 ・具体的事例から一般論への展開と、対比の構造とを手がかりとして、近代化と時間の合理性との関係を理解する。 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・近代における時間について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。</p> <p>・教材…時間と自由の関係について (内山節)</p>	<p>【知識及び技能】 ・本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ・文章を読み、自分の考えや事柄を的確に伝えられるよう工夫している。 ・具体的事例から一般論への展開と、対比の構造とを手がかりとして、近代化と時間の合理性との関係を理解している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・対比による推論を叙述を基に理解し、学習課題に従って要旨をまとめようとしている。 ・既習の評論と粘り強く読み比べ、積極的に持続可能な社会に関する意見文を書くこととする。</p>	○	○	○	6
<p>定期考査</p>						1

2学期

	<p>「わたし」の輪郭（松村圭一郎）</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本文中の主な常用漢字や語句・語彙、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、構造や特色などを理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本文を理解した上で、読み手の理解を得るために、自分の考えや事柄を的確に伝え、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫する。 筆者の意図を理解し、主張を把握する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 内容や構成を捉え、要旨をまとめる。 	<p>指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 筆者の意図を理解したうえで、主張を把握する。 内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 他者を前提とした自己の認識について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 <p>・教材…「わたし」の輪郭（松村圭一郎）</p>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 文章を読み、自分の考えや事柄を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫している。 筆者の意図を理解したうえで、主張を把握している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 内容や構成を叙述を基に捉え、要旨をまとめようとしている。 	○	○	○	6
3 学期	<p>浪費を妨げる社会（國分功一郎）</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本文中の主な常用漢字や語句・語彙、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、構造や特色などを理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本文を理解した上で、読み手の理解を得るために、自分の考えや事柄を的確に伝え、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫する。 主張を論証する論理構成を把握し、筆者が述べるデザインの本質について理解する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 筆者の主張とその根拠を的確に読み取り、学習課題に沿って論理の展開を分析する。 論理を理解し、要旨をまとめる。 	<p>指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 文章を分析的に読み、根拠の妥当性と主張との関係を理解する。 文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、文章の構成や論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する方法を学ぶ。 事柄が的確に伝わるように、表現の仕方を工夫する方法を学ぶ。 <p>・教材 浪費を妨げる社会（國分功一郎）</p>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 文章を読み、本文の要旨を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、表現の仕方を工夫している。 主張を論証するための根拠を示す論理構成を把握し、筆者が述べるデザインの本質について理解している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 筆者の主張とそれを支える根拠を粘り強く読み、学習課題に沿って論理の展開を分析しようとしている。 論理の展開を分析し、今までの学習を生かして要旨をまとめようとしている。 	○	○	○	6
	定期考査						1
							合計 70

高等学校（1学年用）教科 理科 科目 生物基礎

教科：理科 科目：生物基礎
対象学年組：第 1 学年 1 組～ 8 組

単位数： 2 単位

使用教科書：（『生物基礎』（啓林館））

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】日常生活で見られる自然現象を、科学的体系的に捉えていく基本的技能と知識を身に着ける。

【思考力、判断力、表現力等】基本的知識をもとに考え推測したことを、文章や図表などで表現することができる。

【学びに向かう力、人間性等】自然現象に関心を持ち、自ら調べ疑問を解決する態度とスキルを育成する。

科目 生物基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象についての観察、実験などを行うことを通じて、生物や生物現象に関する基本的な概念や原理・法則を理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能が身に付いている。	生物や生物現象を対象に、探究の過程を通して、問題を見いだすための観察、情報の収集、仮説の設定、実験の計画、実験による検証、調査、データの分析・解釈、推論などの探究の方法が習得できている。また、報告書を作成したり発表したりして、科学的に探究する力が育まれている。	生物や生物現象に対して主体的に関わり、それらに対する気付きから課題を設定し解決しようとする態度など、科学的に探究しようとする態度が養われている。その際、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度が養われている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数		
1 学 期	生物の共通性 細胞説について理解 真核細胞と原核細胞 細胞小器官の働き	・様々な生物の比較に基づいて、生物は多様でありながら共通性をもっていることを見いだして理解する。 ・生物が共通性を保ちながら進化し多様化してきたこと、共通性は起源の共有に由来することを理解させる。 ・生物に共通する性質は細胞であることを理解させる。また、細胞にも原核細胞と真核細胞があることを細胞の内部構造とともに理解させる。	・生物の共通性と多様性について、すべての生物で細胞が共通の構造であることを理解している。 ・原核細胞と真核細胞の違いについて、それらの細胞に含まれる細胞小器官の違いとともに理解している。 (定期考査) ・資料や実験をもとに、生物に共通する性質を見いだし表現することができる。 ・細胞が生物の基本構造であることを、生物学的な視点から考察することができる。 (発問評価・課題提出)	○	○	○	6	
	代謝 酵素の働きと性質 同化・異化とエネルギーの関係 ATPの働き	・生命活動に必要なエネルギーと代謝について理解させる。その際、呼吸と光合成の概要を扱う。 ・代謝の反応が行われるときに、酵素がどのように関与しているのか理解させる。 ・光合成や呼吸がATPを合成する反応であることを理解させる。	・生命活動に必要なエネルギーを、呼吸や光合成から得ていることを理解している。 ・生体内で行われる化学反応は、酵素が触媒していることを理解している。 (定期考査) ・呼吸や光合成からエネルギーを得る方法を、関連づけて考察し、それを表現できる。 (発問評価・課題提出) ・カタラーゼを用いた脱炭酸実験から、酵素の作用と作用する物質の関係について結果を導き出すことができる。 (実験評価)	○	○	○	6	
	定期考査						1	
	遺伝子 DNAの構造 体細胞分裂の過程と複製	・DNAの構造や性質を、研究史を展開しながら理解させる。 ・DNAが体細胞分裂の際に、複製され質・量ともに均等に分配されることにより遺伝情報が伝えられることを理解させる。 ・DNAの複製・分裂は細胞周期にあわせて行われることを理解させる。	・DNAの抽出実験を通してDNAの性質を表現することができる。(実験評価) ・体細胞分裂の過程を模式図で表現することができる。		○	○	5	
	遺伝情報の発現 セントラルドグマ ゲノムと分化	・さまざまな生命現象にはタンパク質が関わっていることに触れ、それらタンパク質がDNAの遺伝情報に基づいて合成されることを理解させる。 ・DNAからタンパク質が合成される際には、転写・翻訳が行われることを理解させる。 ・すべての遺伝子が細胞内でつねに発現しているわけではないことを理解させる。	・演習問題を通してDNAの塩基配列から翻訳されるタンパク質のアミノ酸配列を答えることができる。 ・塩基配列の変化がタンパク質にどう影響を与えるか考察し、言葉で表現できる。(発問)	○	○	○	5	
	定期考査						1	
	生物に関するレポートの作成法	生徒自身が興味を持った学術施設を見学し、写真やデータなどで分かりやすく他人に伝えるレポートを作る。	・自分が興味を持ったテーマは具体的にどの生命現象、生態に分類されるか推定できる。(思考、表現) ・自ら興味のあるテーマを調べ他人にわかりやすく説明できる。(態度)		○	○	1	
	2 学 期	内部環境 体液の種類 体液の循環の仕組み 酸素解離曲線	・動物が体内環境をもち、外界からの影響を適切に調節していることを理解させる。 ・恒常性により、体内環境が保たれていることを理解させる。 ・体液を調節することで、体内環境が保たれていることを理解させる。	・ヒトの体液循環の流れ、体液の種類とその働きなどについて理解している。(知識、定期試験) ・酸素解離曲線を読み取り、その特徴について説明することができる。(思考・表現、定期試験及び課題プリント)	○	○		5
		血液凝固 腎臓と肝臓の働き 体内環境の維持 神経調節	・生体内での情報の伝達が体の調節に関係していることを見いだして理解させる。 ・体内環境の調節に、神経系と内分泌系が関わっていることを理解させる。	・腎臓の働きについて体系的に理解し、ろ過・再吸収のしくみを説明することができる。(発問評価・課題提出) ・外界の環境が変化しても、体内環境は一定の範囲に保たれていることを理解しようとする。 (発問評価・授業態度) ・自律神経の働きについて正しく理解している。(知識、定期考査)	○	○	○	5
		定期考査						1
液性調節 生体防御 物理的・化学的防御 自然免疫		・体内環境の維持とホルモンの働きとの関係を見出して理解させる。 ・血糖直接の仕組みを理解するとともに、糖尿病についても触れる。 ・異物から体を守る仕組みについてまず、侵入を防ぐ仕組みを理解する。 ・自然免疫とについてtolll様受容体に触れながら理解を進める。	・血糖値調節、体液濃度調節をホルモン・自律神経の作用から説明することができる。(思考・表現、課題プリント) ・生体防御の仕組み、自然免疫の仕組みについて、語句を用いて正しく説明することができる。(知識、定期試験・発問)	○	○		6	
適応免疫 細胞性、体液性免疫 適応免疫の医療への応用		・免疫のしくみの概要を取り上げ、体液性免疫や細胞性免疫について理解させる。 ・一次応答と二次応答の違いを理解させ、同じ疾患に二度かかりにくい理由を考察させる。 ・ヒトの身近な免疫疾患について理解させる。	・病原体を認識・排除する機構のしくみを体系的に考察し、表現することができる。 ・ヒトの免疫疾患について、身近な例をもとに説明することができる。(発問評価・課題提出)	○	○		5	

高等学校

教科 国語

科目 言語文化

教科：国語 科目：言語文化
 対象学年組：第 1 学年 1 組～ 8 組

3 単位

使用教科書：（『高等学校 言語文化』（第一学習社））

教科 国語 の目標：

- 【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につける。
- 【思考力、判断力、表現力等】的確に理解したものを適切に表現する力を身につけ、他者との関わりの中で伝え合う力を高める。
- 【学びに向かう力、人間性等】言葉を通して積極的に他者や社会と関わろうとする態度を身につける。

科目 言語文化 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深める。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げ深める。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わり、ものの見方、感じ方、考え方を深めながら言葉の価値を認識するとともに、読書に親しむことで自己の向上を図る。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
「児のそら寝」（『宇治拾遺物語』） 【知識及び技能】 ・言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解する。 ・文語のきまりや古典特有の表現について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・古典の文章に慣れ、おもしろさや人間描写の巧みさを理解する。 ・説話の展開を的確に捉え、ものの見方や考え方を解釈する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的に説話を読み味わう。	指導事項 ・古典の文章に慣れるとともに、現代に通じる話のおもしろさや人間描写の巧みさを知る。 ・説話という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主として歴史的仮名遣いや古今異義語について、文語のきまりを理解する。 ・教材・児のそら寝	【知識及び技能】 ・言語文化の理解、語句・語彙の習得。 ・古文のきまりや特有の表現を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章に慣れ、現代に通じる話のおもしろさや人間描写の巧みさを理解している。 ・説話という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、内容を解釈している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・積極的に説話を読み味わい、互いに話のおもしろさを伝え合おうとしている。		○	○	○	6
「絵仏師良秀」（『宇治拾遺物語』） 【知識及び技能】 ・動詞の活用や活用形を習得。 ・係り結びを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・古典の文章に慣れ、古文の人物造形のおもしろさを読み取る。 ・絵仏師良秀と世間の人のものの見方・感じ方・考え方の違いを知る。 【学びに向かう力、人間性等】 ・良秀の価値観を理解・共感できるかについて話し合う。	指導事項 ・前単元で身につけた歴史的仮名遣いへの留意を意識しながら、滑らかに音読する。 ・動詞の活用と活用形を理解する。 ・係り結びを理解する。 ・出来事に対する良秀と町の人の考え方を対照し、良秀の価値観を整理する。 ・教材・児のそら寝	【知識及び技能】 ・歴史的仮名遣いや音読の習得。 ・動詞の活用・活用形を理解し、本文中の動詞について活用の種類と活用形を指摘できる。併せて係り結びを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・本文中に描かれている出来事を適切に把握している。 ・良秀と町の人の価値観の違いを対照して考えている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・良秀の価値観から自分の考えを広げる。		○	○	○	6
定期考査						1	
「なよ竹のかぐや姫」（『竹取物語』） 【知識及び技能】 ・特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解する。 ・文語のきまりや古典特有の表現について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・古典の世界観に慣れ、現代まで継承されたことを理解する。 ・作り物語に表れているものの見方や考え方を捉えて解釈する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・初期仮名物語に親しみ、伝奇性や心情描写の特色を捉える。	指導事項 ・歴史的仮名遣いや音便に留意しながら音読する。 ・古典特有の世界観に慣れるとともに、千年以上前に作られた物語が現代まで継承されていることを知る。 ・伝奇的作り物語という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・形容詞、形容動詞の活用について理解し、本文中から指摘する。 ・教材・なよ竹のかぐや姫	【知識及び技能】 ・我が国の特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語彙を豊かにしている。 ・形容詞・形容動詞の活用について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・千年以上前に作られた物語が現代まで継承されていることを把握している。 ・作り物語という文章の種類を踏まえて、展開を的確に捉え、内容を解釈している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・初期仮名物語に積極的に親しみ、学習課題に沿って伝奇性や心情描写の特色を捉えようとしている。		○	○	○	6

1 学期

<p>「東下り」（『伊勢物語』）</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解する。 ・文語のきまりや古典特有の表現について理解を深める。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・和歌が果たす役割を押さえ、歌物語の特徴を理解する。 ・歌物語の展開を的確に捉え、解釈する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歌物語に積極的に親しみ、和歌の果たす意味を捉える。 	<p>指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話の中で和歌が果たす役割を押さえ、歌物語の特徴と読み解き方を理解する。 ・主人公一行の旅の過程と心情の変化を捉え、内容を解釈する。 ・作品の歴史的・文化的背景を理解する。 ・主として用言の活用について復習をし、理解を深める。 <p>・教材…伊勢物語</p>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本文中に登場する、語句や語彙の文化的背景を理解し、語彙を豊かにしている。 ・用言の活用や古典特有の表現について理解を深めている。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歌物語の中で和歌の役割や特徴から、読み解き方を理解している。 ・旅の過程や心情の変化、場面ごとに詠まれている和歌の内容を解釈している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歌物語に積極的に親しみ、和歌の果たす意味を捉えようとしている。 	○	○	○	6
<p>定期考査</p> <p>「訓読に親しむ」</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢文を読むために必要な訓読のきまり、漢文特有の表現などについて理解を深めている。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訓読の基礎知識として返り点や助字のはたらきと意味を習得する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見通しをもって、漢文訓読の基礎知識を積極的に身につける。 	<p>指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢文を訓読するための基礎知識として、返り点の種類と使い方を習得する。 ・同様に漢文を訓読するための基礎知識として、助字のはたらきと意味を習得する。 ・我が国の文化と外国の文化との関係について理解する。 ・訓読のきまりを理解し、滑らかに音読する。 <p>・教材 訓読に親しむ漢文を読むために</p>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢文の世界に親しむために、必要な訓読のきまりや古典特有の表現などについて理解を深めている。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢文を訓読するための基礎知識として、返り点の種類と使い方、助字のはたらきと意味を習得する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これからの学習に見通しをもって、漢文訓読の基礎知識を積極的に身につける。 	○	○	○	6
<p>「春はあけぼの」「はしたなきもの」（『枕草子』）</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・随筆から、当時の生活感覚や興味の対象、考え方を理解する。 ・文語のきまりとして助動詞について理解を深める。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然や人事を受け止め把握し、「をかし」「あはれなり」「はしたなし」の理解を深める。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然や人事を受け止める感覚を豊かにし、観察眼を高める。 	<p>指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象に向ける作者の目や意識を理解させ、ものの見方や考え方を豊かにする視点を養う。 ・筆者の感性について共感できるもの、自分の感性とは異なるものについて話し合う。 ・助動詞の意味、活用、接続について学び理解する。 	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自由に記述された随筆を読んで、当時の人の生活感覚や興味の対象を知り、ものの見方・考え方を理解を深めている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりとして助動詞について理解を深めている。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本文中に記された自然や人事を受け止め把握するとともに、「をかし」「あはれなり」「はしたなし」といった情意を表す言葉について理解を深めている。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然や人事を受け止める感覚を豊かにし、自らの観察眼を高めようとしている。 	○	○	○	8
<p>「門出」（『土佐日記』）</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解する。 ・文語のきまりとして助動詞について理解を深める。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日記文学の中でも記録としての日記とは異なる表現方法と執筆意図を読み解く。 ・展開を的確に捉え、ものの見方や考え方に触れ、解釈する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・虚構性の高い日記から執筆意図など積極的に考えを深める。 	<p>指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本最古の日記文学を読んで、記録としての日記とは異なる表現方法と執筆意図を読み解く。 ・女性に仮託して書かれた日記という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れている批評や諧謔の精神と、亡児追憶の心情を捉え、内容を解釈する。 ・助動詞の意味、活用、接続について学び理解する。 <p>・教材…土佐日記</p>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙を理解し、語感を磨く。 ・古典を読むために必要な文語や助動詞について理解を深めている。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・我が国最初の日記文学を読み、表現方法と執筆意図を読み解いている。 ・日記という文章の種類を踏まえて、内容理解や展開を的確に捉えている。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・虚構性の高い日記を読み、執筆意図などについて積極的に批評したり討論したりしようとしている。 	○	○	○	6
<p>「漁父之利」「狐借虎威」（故事成語）</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訓読に注意した音読や書き下し文を学習する。 ・漢文由来の言葉を知り、故事成語に対する知識を広げる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・辞典等の利用した口語訳から、全体の内容を把握・理解する。 ・登場する動物等との対応関係を考え、当時、策士が何を伝えようとしたのかを理解する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・故事成語の由来について知り、言葉に対する認識を深める。 	<p>指導事項</p> <p>漢文の訓読に慣れるとともに、現在使われている言葉が漢文に由来することを理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章の種類を踏まえて、たとえ話を読み解き、内容や展開を的確に捉える。 ・作品の歴史的・文化的背景を理解する。 ・訓読のきまりを理解する。 ・故事成語の由来となった話を読み、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解する。 <p>・教材 狐借虎威</p>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢文の訓読に慣れるとともに、現在使われている言葉が漢文に由来することを理解している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・故事成語の由来となった話を積極的に読もうとしている。 	○	○	○	6
<p>定期考査</p>						1

2 学 期	<p>「ある人、弓射ることを習ふに」 「丹波に出雲といふ所あり」（『徒然草』）</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解する。 ・古典読解に必要な助動詞について理解を深める。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・思索的な随筆から、批評的精神を読み解く。 ・随筆から内容を的確に捉える。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作者の批評・教訓・感動などを読み取り、伝え合う。 	<p>指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作者の批判的精神が提示する事柄を具体的に読み解く。 ・さまざまな文体を駆使した随筆という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・「歴史の窓」と読み合わせて、作品の歴史的・文化的背景を理解する。 ・主として敬語について文語のきまりを理解する。 <p>・教材…徒然草 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文語や古典特有の表現の理解を深める。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・思索的な随筆を読み、作者の批評的精神が提示する事柄を具体的に読み解く。 ・随筆の種類を踏まえ、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本文中に表れた作者の批評・教訓・感動などを積極的に読み取り、考えたことを伝え合おうとしている。 				6
	<p>「先従隗始」（『十八史略』）</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国内外の文化・関係を理解する。 ・古典に親しみ、訓読のきまり、古典特有の表現を理解を深める。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戦国時代を背景とした国の状況を知るとともに、論理の巧みさを読み解く。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・史伝の特徴を理解し、たとえ話の展開や論理を説明する。 	<p>指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・史伝という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 ・戦国時代を背景とした国の状況を知り、郭隗が用いた論理の巧みさを読み解く。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・訓読のきまりを理解する。 ・作品の由来と現代の意味の違いを知り、古典と現代の言葉のつながりを理解する。 <p>・教材 先従隗始（十八史略）</p>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係を理解している。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解を深めている。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・戦国時代の状況を知るとともに、郭隗が用いた論理の巧みさを読み解いている。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積極的に史伝の特徴を理解し、たとえ話から論理を説明しようとしている。 				5
	<p>『万葉集』『古今和歌集』『新古今和歌集』</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解する。 ・枕詞や序詞などの表現技法とその効果について理解する。 ・言語文化の特質や古典読解に必要な文語、表現の理解を深める。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝統文化の一つである和歌の鑑賞の仕方を理解する。 ・和歌の内容や展開を的確に捉え、ものの見方や考え方に触れ、内容を解釈する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・修辞技法等の学習の見直しを持ち、和歌文芸の特徴を捉える。 	<p>指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・我が国の伝統文化の一つである和歌の鑑賞のしかたを理解する。 ・和歌という文章の種類を踏まえて、情景や心情など、内容や展開を的確に捉える。 ・我が国の言語文化に特徴的な和歌の表現の技法とその効果について理解する。 ・主として枕詞や序詞などの和歌の修辞について、文語のきまりを理解する。 <p>・教材 万葉集 古今和歌集 新古今和歌集</p>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・枕詞や序詞などの言語文化に特徴的な表現の技法と効果について理解している。 ・我が国の言語文化の特質、古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現について理解を深めている。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・我が国の伝統文化の一つである和歌の鑑賞の仕方を理解している。 ・和歌という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉えている。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・和歌の修辞技法を進んで理解し、学習の見直しをもって和歌文芸の特徴を捉えようとしている。 				6
定期考査							1
	<p>「その子二十」</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・我が国の言語文化に特徴的な表現技法や効果について理解する。 ・我が国の伝統文化の一つである短歌の鑑賞の仕方を理解し、近代を代表する歌人の作品を味わう。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・短歌の形式や表現を進んで理解し、短歌に親しむ。 <p>作品に表れている情景や心情を鑑賞し、自分のものの見方、感じ方を積極的に豊かにする。</p>	<p>指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・我が国の伝統文化の一つである短歌の鑑賞のしかたを理解し、近代を代表する歌人の作品を味わう。 ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・我が国の言語文化に特徴的な、短歌の表現の技法とその効果について理解する。 <p>・教材…その子二十</p>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・我が国の伝統文化の一つである短歌の鑑賞の仕方を理解し、近代を代表する歌人の作品を味わっている。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・短歌の形式や表現を進んで理解し、学習の見直しをもって短歌文芸に親しもうとしている。 ・作品に表れている情景や心情を鑑賞し、自分のものの見方、感じ方を積極的に豊かにしようとしている。 				6

3 学 期	<p>「祇園精舎」「木曾の最期」（『平家物語』）</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・語句・語彙の文化的背景を理解し語感を磨き語彙を豊かにする。 ・古典読解に必要な敬語について理解を深める。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・軍記物語から、争いを背景として生まれた思想や人間のありようを理解する。 ・軍記物語の種類を踏まえ、内容や展開を的確に捉える。また、この作品に表れているものの見方や考え方を踏まえて解釈する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・無常観を読み取り、自分の考えを広げ、深める。 	<p>指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・軍記物語を読み、争いを背景として生まれた思想や人間のありようを知る。 ・軍記物語という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れている無常観や武士の生き方を捉え、内容を解釈する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・主として敬語について文語のきまりを理解する。 <p>・教材…平家物語</p>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりとして敬語について理解を深めている。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・軍記物語を読み、争いを背景として生まれた思想や人間のありようを理解している。 ・軍記物語という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品に表れている無常観を粘り強く読み取り、自分の考えを広げたり深めたりしようとしている。 	○	○	○	8
	<p>「漢詩」</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化的歴史的背景を理解する。 ・漢詩のきまりを理解する。 <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ものの見方や考え方に触れ、解釈する方法を学ぶ。 ・詩の構成、対句などの表現技法が、作品世界を豊かにする効果について確認をする。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古代中国の人々の自然や人事への思いを読み取り、時代や国を超えて通じ合う感性を豊かにする。 	<p>指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・詩の構成、対句、押韻といった漢詩のきまりを理解し、作品世界の広がり把握する。 ・作品や作者が持つ背景を知り、それをふまえて鑑賞する。 ・古代中国の人々の思いと現代日本に生きる我々の感性の異同について話し合う。 <p>・教材…漢詩</p>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化的歴史的背景を理解している。 ・漢詩のきまりを理解している。 <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈している。 ・詩の構成、対句といった表現技法が作品世界を豊かにするものとして効果を上げていることを確認している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古代中国の思想を読み取り、時代や国を超えて通じ合う感性を豊かにし、その内容について話し合いを深めている。 	○	○	○	8
	<p>「旅立ち」（『奥の細道』）</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにする。 ・特徴的な表現の技法とその俳諧紀行文という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を捉えて内容を解釈し、効果について理解する。 ・古典読解に必要な文語や古典特有の表現、時間の経過による言葉の変化について理解を深める。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・俳諧紀行文から、散文と句の関係を理解し、作者の思想や心情を捉える。 ・俳諧紀行文の種類を踏まえ、内容や展開を的確に捉える。また、ものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・和漢の古典を取り入れた作品を丁寧に読み、これまでの学習を踏まえて解釈を深める。 	<p>指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・俳諧紀行文における散文と句の関係を理解し、作品に表れた作者の思想や心情を捉える。 ・句に感動の中心がある俳諧紀行文という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える。 ・作品に表れている作者の人生観や旅の意味と言った、ものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・我が国の言語文化に特徴的な俳諧の表現の技法とその効果について理解する。 ・「古典のしるべ」と読み合わせて、我が国の言語文化の特質や、外国の文化との関係について理解する。 ・文語のきまりを理解する。 <p>・教材…奥の細道</p>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本文中に登場する、我が国の言語文化に特徴的な語句・語彙の文化的背景を理解し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや古典特有の表現、時間の経過などによる言葉の変化について理解を深めている。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・俳諧紀行文における散文と句の関係を理解し、作品に表れた作者の思想や心情を捉えている。 ・俳諧紀行文という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉え、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・和漢を取り入れて成立した古典作品を粘り強く読み、これまでの学習を踏まえて積極的に解釈を深めようとしている。 	○	○	○	6
	<p>定期考査</p> <p>人形浄瑠璃文楽—三業一体の技</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言語文化の特質、伝統芸能の歴史的・文化的背景について理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査した内容が効果的に伝わるよう、文章の構成、展開などの表現の仕方を工夫する。 ・伝統芸能に関する文章を読み、扱われている題材や内容、表現の技法など、興味を広げる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の行動や心理を読み解き、内容や展開を捉える。 ・伝統芸能について書かれた文章を読み、自分の考えを積極的に取り組む。 	<p>指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・我が国の伝統芸能に関する文章を読んで、扱われている題材や内容、表現の技法などについて興味を広げる。 ・我が国の伝統芸能について書かれた文章を読み、関連する事項について調べたことを整理して説明資料にまとめ、発表する。 ・言葉には、文化の継承を支えるはたらきがあることを理解する。 <p>・教材…人形浄瑠璃文楽—三業一体の技</p>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・我が国の言語文化の特質、伝統芸能の歴史的・文化的背景について理解している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査した内容が効果的に伝わるよう、文章の構成、展開などの表現の仕方を工夫している。 ・我が国の伝統芸能に関する文章を読んで、扱われている題材や内容、表現の技法などについて興味を広げている。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の行動や心理を粘り強く読み解き、内容や展開を捉えようとしている。 ・我が国の伝統芸能について書かれた文章を読み、自分の考えを積極的に深めようとしている。 				1
							5
						合計	
						105	

高等学校（1学年用） 教科

保健体育 科目 体育

教科：保健体育 科目：体育
 対象学年組：第 1 学年 1 組～ 8 組

単位数： 2 単位

使用教科書：（『現代保健体育』（大修館） ステップアップ高校スポーツ（大修館））

教科 保健体育 の目標：

体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、自己の状況に応じて体力の向上を図るための資質・能力を次育成する。

科目 体育 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けている。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、一人一人の違いを大切にしようとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
<p>【知識及び技能】</p> <p>体ほぐしの運動では、手軽な運動を行い、心と体は互いに影響し変化することや心身の状態に気付き、仲間と自主的に開わり合うことができるようになる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>実生活に生かす運動の計画では、ねらいに応じて、健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための運動の計画を立て取り組むことができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとするなど、話し合いに貢献しようとするなどや、健康・安全を確保することができるようにする。</p>	<p>体づくり運動 （敏捷性を高める運動・柔軟性を高める運動・巧緻性を高める運動）</p>	<p>【知識及び技能】</p> <p>・定期的・計画的に運動を継続することは、心身の健康、健康や体力の保持増進につながる意義があることについて、言ったり書き出したりしている。</p> <p>・運動を安全に行うには、関節への負荷がかかりすぎないようにすることや軽い運動から始めるなど、徐々に筋肉を温めてから行うことについて、言ったり書き出したりしている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>【ねらいや体力の程度を踏まえ、自己や仲間の課題に応じた強度、時間、回数、頻度を設定している。</p> <p>・体づくり運動の学習成果を踏まえて、実生活で継続しやすい運動例や運動の組合せの例を見付けている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>・体づくり運動の学習に自主的に取り組もうとしている。</p> <p>・健康・安全を確保している。</p> <p>・一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとしている。</p>	○	○	○	7
<p>【知識及び技能】</p> <p>・勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開すること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>・自己や仲間の技術的な課題やチームの作戦・戦術についての課題や課題解決に有効な練習方法の選択について、自己の考えを伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>・競技の学習に主体的に取り組むこと。</p> <p>・フェアなプレイを大切にすること。</p> <p>・仲間の課題を指摘するなど、互いに助け合い高め合おうとすること。</p>	<p>種目選択制授業 バレーボール バスケットボール ソフトボール</p>	<p>【知識及び技能】</p> <p>・ゴール型では状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防をすること。</p> <p>・ネット型では、状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防をすること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>・攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考え方を他者に伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>・競技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとするなど、作戦などについての話し合いに貢献しようとするなど、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとするなど、互いに助け合い教え合おうとすることなどや、健康・安全を確保すること。</p>	○	○	○	10
<p>【知識及び技能】</p> <p>・クロールでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすることができるようにする。</p> <p>・平泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすることができるようにする。</p> <p>・背泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで泳ぐことができるようにする。</p> <p>・バタフライでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで泳ぐことができるようにする。</p> <p>複数の泳法で泳ぐこと、又はリレーをすることができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>・泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>・水泳に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとするなど、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保することができるようにする。</p>	<p>水泳</p>	<p>【知識及び技能】</p> <p>・水泳の各種目で用いられる技術の名称があり、それぞれの技術には、効率的に泳ぐためのポイントがあることについて、学習した具体例を挙げている。</p> <p>・泳ぎの速さに応じて、顔を横に向ける大きさを調節して呼吸動作を行うことができる。</p> <p>・肩より前で、両手で逆ハート型を描くように強くかくことができる。</p> <p>・ブルのかき終わりに合わせて顔を水面上に出して呼吸を行い、キックの蹴り終わりに合わせてグライドをとり、1回の腕の動き（ストローク）で大きく進むことができる。</p> <p>・水面上の腕は肘を伸ばし、肩を支点にして肩の延長線上に小指側からまっすぐ人水することができる。</p> <p>・腕を前方に伸ばし、手のひらが胸の前を通るようなキーホルの形を描くようにして腰や太ももくらいまで大きくかく動き（ロングアームブル）で進むことができる。</p> <p>・クロール、平泳ぎでは、水中で両足あるいは左右どちらかの足をブルの壁につけた姿勢から、スタートの合図と同時に顔を水中に沈め、抵抗の少ない流線型の姿勢をとって力強く壁を蹴り、各泳法に適した水中における一連の動きから、泳ぎだすことができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>・選択した泳法について、合理的な動きと自己や仲間の動きを比較して、成果や改善すべきポイントとその理由を仲間に伝えている。</p> <p>・選択した泳法に必要な準備運動や自己が取り組む補助運動を選んでいる。</p> <p>・健康や安全を確保するために、体調や環境に応じた適切な練習方法等について振り返っている。</p> <p>・体力や技能の程度、性別等の違いに配慮して、仲間とともに水泳を楽しむための活動の方法やその修正の仕方を見付けている。</p> <p>・水泳の学習成果を踏まえて、自己に適した「する、みる、支える、知る」などの運動を継続して楽しむための関わり方を見付けている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>・自主的に取り組み、ルールやマナーを大切にしようとしている。水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保することができる。</p>	○	○	○	8

高等学校（1学年用）教科

保健体育 科目 保健

教科：保健体育 科目：保健

単位数：1 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 8 組

使用教科書：（ 現代高等保健体育 図説 現代高等保健 （大修館書店） ）

教科 保健体育

科目 保健 の目標：生涯を通じて、自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を育成する。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
学習内容について、理解したことを言ったり書いたりしている。	学習内容に関する課題を発見し、解決方法などを話し合ったり、筋道を立てて説明している。	課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各項目内容について理解し、実生活にいかすことができるようにする。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各項目内容について、話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明できるように導いていく。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各項目内容について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組めるようにまとめさせていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 健康の考え方と成り立ち 私たちの健康のすがた 生活習慣病の予防と回復 がんの原因と予防 がんの治療と回復 運動と健康 食事と健康 休養・睡眠と健康 喫煙と健康 飲酒と健康 	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各項目内容について理解したことを言ったり書いたりしている。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各項目内容について、理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各項目内容について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。 	○	○	○	10
	定期考査			○	○	○	1
2 学期	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 研究発表を通して、自己の疑問を検証、解決することができるようにする。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> まとめレポートの内容が一貫して、序論から結論までまとめられるように導いていく。 発表内容が聞き手に分かりやすく、まとめられるようにグループ内の活動の時間を設けていく。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> グループで協力し、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組むように導いていく。 まとめレポートの提出を探究させるように「なぜ」という疑問をもたせていく。 	<p>研究発表形式</p> <ul style="list-style-type: none"> 震災への備えと対策 スポーツ選手の食事と休養 アレルギーについて 精神疾患の予防 精神疾患からの回復 現代の感染症 感染症の予防 性感染症・エイズとその予防 健康に関する意思決定・行動選択 事故の現状と発生要因 安全な社会の形成 交通における安全 中高年期と健康 労働災害と健康 大気汚染と健康 水質汚濁、土壌汚染と健康 環境と健康にかかわる対策 ごみの処理と上下水道の整備 食品の安全性 食品衛生にかかわる活動 <p>まとめレポートの作成</p>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 研究発表を通して、自己の疑問を検証、解決することができる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> まとめレポートの内容が一貫して、序論から結論までまとめられている。 発表内容が聞き手に分かりやすく、まとめられている。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> グループで協力し、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。 まとめレポートの提出 	○	○	○	19
	3 学期	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各項目内容について理解し、実生活にいかすことができるようにする。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各項目内容について、話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明できるように導いていく。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各項目内容について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組めるようにまとめさせていく。 	<ul style="list-style-type: none"> 薬物乱用と健康 応急手当の意義とその基本 日常的な応急手当 心肺蘇生法 <p>1年間のまとめ</p>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各項目内容について理解したことを言ったり書いたりしている。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各項目内容について、理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各項目内容について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。 	○	○	○
授業内試験				○	○	○	1
学 年							合計
							35

高等学校

教科 外国語

科目 総合英語 I

教科： 外国語 科目： 総合英語 I

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 7 組～ 8 組

使用教科書： ()

教科 外国語 の目標：

【知識及び技能】各単元に関連する単語や表現、文法について理解することができる

【思考力、判断力、表現力等】自分自身の意見や考えをわかりやすく相手に伝えることができる

【学びに向かう力、人間性等】自分自身の意見や考えをわかりやすく相手に伝えようとする力を養成する

科目 総合英語 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
自分自身のことを紹介したりや社会的な題材について話をする際に使用する単語や表現、文法を理解する。	情報を整理しながら、自分の考えや意見を述べたり、伝え合ったりし、わかりやすく相手に伝える。	自分を知り、他者を理解して尊重するとともに、情報や考えなどを英語で話したり書いたりして、相手にわかりやすく表現しようとする。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
Talking about your goal for the year 【知識及び技能】 本単元に関連する単語や表現、文法について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 題材に沿った内容を論理的かつ簡潔にまとめ、自分の意見や考えを述べたり、伝え合ったりしながらコミュニケーションを取っている。 【学びに向かう力、人間性等】 ペアワークやグループ活動に積極的に参加し、英語でコミュニケーションを取ろうとする。	英語での自己紹介 スピーチの構成や話し方について理解する 自分自身の目標について発表をする ペアワーク・グループワークによる表現活動	【知識及び技能】 ・本単元に関連する単語や表現、文法について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・本単元に関連する単語や表現、文法を活用しながら、自分の言葉で考えを伝えたり、意見を述べたりしている。 ・情報や考えを簡潔にまとめ、英語で伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ペアワークやグループ活動に積極的に参加している。 ・英語でコミュニケーションを取ろうとしている。	○	○	○	9
Show & Tell - Your treasure 【知識及び技能】 本単元に関連する単語や表現、文法について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 題材に沿った内容を論理的かつ簡潔にまとめ、自分の意見や考えを述べたり、伝え合ったりしながらコミュニケーションを取っている。 【学びに向かう力、人間性等】 ペアワークやグループ活動に積極的に参加し、英語でコミュニケーションを取ろうとする。	自分の宝物を紹介する スピーチの構成や話し方について理解する ペアワーク・グループワークによる表現活動	【知識及び技能】 ・本単元に関連する単語や表現、文法について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・本単元に関連する単語や表現、文法を活用しながら、自分の言葉で考えを伝えたり、意見を述べたりしている。 ・情報や考えを簡潔にまとめ、英語で伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ペアワークやグループ活動に積極的に参加している。 ・英語でコミュニケーションを取ろうとしている。	○	○	○	8
1 学 期 定期考査						
The meal you will never forget. 【知識及び技能】 本単元に関連する単語や表現、文法について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 題材に沿った内容を論理的かつ簡潔にまとめ、自分の意見や考えを述べたり、伝え合ったりしながらコミュニケーションを取っている。 【学びに向かう力、人間性等】 ペアワークやグループ活動に積極的に参加し、英語でコミュニケーションを取ろうとする。	忘れられない食事についてエッセーを書き、発表をする スピーチの構成や話し方について理解する ペアワーク・グループワークによる表現活動	【知識及び技能】 ・本単元に関連する単語や表現、文法について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・本単元に関連する単語や表現、文法を活用しながら、自分の言葉で考えを伝えたり、意見を述べたりしている。 ・情報や考えを簡潔にまとめ、英語で伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ペアワークやグループ活動に積極的に参加している。 ・英語でコミュニケーションを取ろうとしている。	○	○	○	8
An impressive video clip you like 【知識及び技能】 本単元に関連する単語や表現、文法について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容について、単語や表現、文法を活用しながら、自分の言葉で考えを伝えたり、意見を述べたりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ペアワークやグループ活動に積極的に参加し、英語でコミュニケーションを取ろうとする。	印象に残っている動画についてエッセーを書き、発表をする スピーチの構成や話し方について理解する ペアワーク・グループワークによる表現活動	【知識及び技能】 ・本単元に関連する単語や表現、文法について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・本単元に関連する単語や表現、文法を活用しながら、自分の言葉で考えを伝えたり、意見を述べたりしている。 ・情報や考えを簡潔にまとめ、英語で伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ペアワークやグループ活動に積極的に参加している。 ・英語でコミュニケーションを取ろうとしている。	○	○	○	8
Interview Test				○	○	2
Presentation: PR of a Prefecture 【知識及び技能】 本単元に関連する単語や表現、文法について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 題材に沿った内容を論理的かつ簡潔にまとめ、自分の意見や考えを述べたり、伝え合ったりしながらコミュニケーションを取っている。 【学びに向かう力、人間性等】 ペアワークやグループ活動に積極的に参加し、英語でコミュニケーションを取ろうとする。	グループごとに都道府県について紹介をするプレゼンテーションを行う ペアワーク・グループワークによる表現活動	【知識及び技能】 ・本単元に関連する単語や表現、文法について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・本単元に関連する単語や表現、文法を活用しながら、自分の言葉で考えを伝えたり、意見を述べたりしている。 ・情報や考えを簡潔にまとめ、英語で伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ペアワークやグループ活動に積極的に参加している。	○	○	○	10

高等学校（1学年用）教科

外国語

科目 英語コミュニケーションⅠ

教科：外国語

科目：英語コミュニケーションⅠ

単位数：3 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 6 組

使用教科書：（『高等学校 LAND MARK English Communication Ⅰ』（啓林館））

教科 外国語 の目標：

【知識及び技能】各単元の文法事項を理解し、それを用いて本文の内容を読み取る

【思考力、判断力、表現力等】本文の内容をわかりやすく相手に伝えることができる

【学びに向かう力、人間性等】本文の内容をわかりやすく相手に伝えようとする力を養成する

科目 英語コミュニケーションⅠ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常的に使用する単語や表現、文法など基本的な英語を理解する。	情報を整理しながら、自分の考えや意見を述べたり、伝え合ったりし、コミュニケーションを行う場面や目的に応じて、論理的に適切な英語で表現する。	他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、英語で聞いたり読んだりしたことを活用して、情報や考えなどを英語で話したり書いたりして表現しようとする。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数	
		聞	読	話 （ や ）	話 （ 発 ）	書						
Lesson 1 Enjoy Your Journey! 【知識及び技能】 本文中で扱う単語や表現、文法について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容について、単語や表現、文法を活用しながら、自分の言葉で考えを伝えたり、意見を述べたりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ペアワークやグループ活動に積極的に参加し、英語でコミュニケーションを取ろうとする。	指導事項 ・不定詞、動名詞の表現や基本的な文構造を理解させ、それを用いて表現させる。 ・教科書本文の読解 ・ペアワーク・グループワークによる表現活動	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 ・本文中で扱う単語や表現、文法について理解し、本文を読解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・本文中に登場する単語や表現、文法を活用しながら、自分の言葉で考えを伝えたり、意見を述べたりしている。 ・本文の内容を簡潔にまとめ、英語で伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ペアワークやグループ活動に積極的に参加している。 ・英語でコミュニケーションを取ろうとしている。	○	○	○	○	8
Lesson 2 Curry Travels around the World! 【知識及び技能】 本文中で扱う単語や表現、文法について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容について、単語や表現、文法を活用しながら、自分の言葉で考えを伝えたり、意見を述べたりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ペアワークやグループ活動に積極的に参加し、英語でコミュニケーションを取ろうとする。	指導事項 ・分詞、現在完了の表現や基本的な文構造を理解させ、それを用いて表現させる。 ・教科書本文の読解 ・ペアワーク・グループワークによる表現活動	○	○	○	○	○		○	○	○	10	
1 学 期 定期考査		○				○		○	○		1	
Lesson 3 School Uniforms 【知識及び技能】 本文中で扱う単語や表現、文法について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容について、単語や表現、文法を活用しながら、自分の言葉で考えを伝えたり、意見を述べたりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ペアワークやグループ活動に積極的に参加し、英語でコミュニケーションを取ろうとする。	指導事項 ・受動態の表現や基本的な文構造を理解させ、それを用いて表現させる。 ・教科書本文の読解 ・ペアワーク・グループワークによる表現活動	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 ・本文中で扱う単語や表現、文法について理解し、本文を読解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・本文中に登場する単語や表現、文法を活用しながら、自分の言葉で考えを伝えたり、意見を述べたりしている。 ・本文の内容を簡潔にまとめ、英語で伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ペアワークやグループ活動に積極的に参加している。 ・英語でコミュニケーションを取ろうとしている。	○	○	○	○	10
Lesson 4 Eco-Tour on Yakushima 【知識及び技能】 本文中で扱う単語や表現、文法について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容について、単語や表現、文法を活用しながら、自分の言葉で考えを伝えたり、意見を述べたりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ペアワークやグループ活動に積極的に参加し、英語でコミュニケーションを取ろうとする。	指導事項 ・SVOCや関係副詞の表現や基本的な文構造を理解させ、それを用いて表現させる。 ・教科書本文の読解 ・ペアワーク・グループワークによる表現活動	○	○	○	○	○		○	○	○	10	
定期考査		○				○		○	○		1	
Lesson 5 Bailey the Facility Dog 【知識及び技能】 本文中で扱う単語や表現、文法について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容について、単語や表現、文法を活用しながら、自分の言葉で	指導事項 ・過去完了やSV0+不定詞の表現、使役動詞、基本的な文構造を理解させ、それを用いて表現させる。 ・教科書本文の読解 ・ペアワーク・グループワークによる表現活動	○	○	○	○	○	【知識及び技能】 ・本文中で扱う単語や表現、文法について理解し、本文を読解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・本文中に登場する単語や表現、文法を活用しながら、自分の言葉で考えを伝えたり、意見を述べたりしている。	○	○	○	○	

	考えを伝えたり、意見を述べたりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ペアワークやグループ活動に積極的に参加し、英語でコミュニケーションを取ろうとする。		○	○	○	○	○	○	・本文の内容を簡潔にまとめ、英語で伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ペアワークやグループ活動に積極的に参加している。 ・英語でコミュニケーションを取ろうとしている。	○	○	○	○	10	
	Lesson 6 Communication without Words 【知識及び技能】 本文中で扱う単語や表現、文法について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容について、単語や表現、文法を活用しながら、自分の言葉で考えを伝えたり、意見を述べたりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ペアワークやグループ活動に積極的に参加し、英語でコミュニケーションを取ろうとする。	指導事項 ・対比や難易の表現や分詞構文、基本的な文構造を理解させ、それを用いて表現させる。 ・教科書本文の読解 ・ペアワーク・グループワークによる表現活動		○	○	○	○	○			○	○	○	○	10
2 学 期	定期考査			○				○			○	○		1	
	Lesson 7 Dear World: Bana's War 【知識及び技能】 本文中で扱う単語や表現、文法について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容について、単語や表現、文法を活用しながら、自分の言葉で考えを伝えたり、意見を述べたりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ペアワークやグループ活動に積極的に参加し、英語でコミュニケーションを取ろうとする。	指導事項 ・関係詞の非限定用法の表現や基本的な文構造を理解させ、それを用いて表現させる。 ・教科書本文の読解 ・ペアワーク・グループワークによる表現活動		○	○	○	○	○	【知識及び技能】 ・本文中で扱う単語や表現、文法について理解し、本文を読解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・本文中に登場する単語や表現、文法を活用しながら、自分の言葉で考えを伝えたり、意見を述べたりしている。 ・本文の内容を簡潔にまとめ、英語で伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ペアワークやグループ活動に積極的に参加している。 ・英語でコミュニケーションを取ろうとしている。						10
	Lesson 8 The Best Education to Everyone, Everywhere 【知識及び技能】 本文中で扱う単語や表現、文法について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容について、単語や表現、文法を活用しながら、自分の言葉で考えを伝えたり、意見を述べたりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ペアワークやグループ活動に積極的に参加し、英語でコミュニケーションを取ろうとする。	指導事項 ・知覚動詞やso that 表現や基本的な文構造を理解させ、それを用いて表現させる。 ・教科書本文の読解 ・ペアワーク・グループワークによる表現活動		○	○	○	○	○						10	
	定期考査			○				○			○	○		1	
	Lesson 9 Space Elevator 【知識及び技能】 本文中で扱う単語や表現、文法について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容について、単語や表現、文法を活用しながら、自分の言葉で考えを伝えたり、意見を述べたりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ペアワークやグループ活動に積極的に参加し、英語でコミュニケーションを取ろうとする。	指導事項 ・仮定法過去表現や基本的な文構造を理解させ、それを用いて表現させる。 ・教科書本文の読解 ・ペアワーク・グループワークによる表現活動		○	○	○	○	○	【知識及び技能】 ・本文中で扱う単語や表現、文法について理解し、本文を読解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・本文中に登場する単語や表現、文法を活用しながら、自分の言葉で考えを伝えたり、意見を述べたりしている。 ・本文の内容を簡潔にまとめ、英語で伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ペアワークやグループ活動に積極的に参加している。 ・英語でコミュニケーションを取ろうとしている。						10

